

2024年度むすびえ認知度調査報告書

調査概要

調査目的	全国での「こども食堂」の認知状況やイメージ、参加状況・参加意向などを把握する。
実施時期	令和6年6月6日（木）～6月14日（金）
調査地域	全国47都道府県
調査対象	15～79歳の男女
対象者の抽出方法	インテージ・インターネットモニターより抽出
サンプル設計	都道府県別の認知状況の比較を行うため、男女50sずつの各県100s回収した。
回答者数	4,700サンプル
集計	R2国勢調査の人口構成比に合わせてウエイトバック集計を行った。以後、全ての集計はウエイトバック後の値である。

1 こども食堂に関する取組の認知（Q1）＜経年比較＞

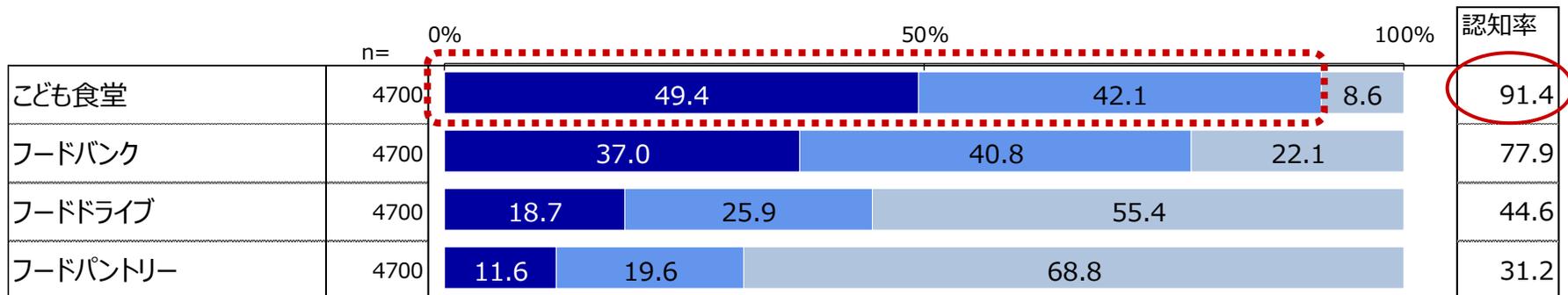
「こども食堂」の認知率は87.7%から91.4%に微増。「内容も知っている」は47.3%から49.4%に微増。「フードバンク」「フードドライブ」「フードパントリー」いずれも認知率は増加。

こども食堂（子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂）
フードバンク（包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通に出せない食品を企業等が寄付し、施設や団体、困窮世帯に無償提供する活動）
フードドライブ（家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、まとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動）
フードパントリー（ひとり親や生活困窮者など、生活に困っている人々に食料を無料で提供する活動）

Q. あなたは次の取組を知っていますか。

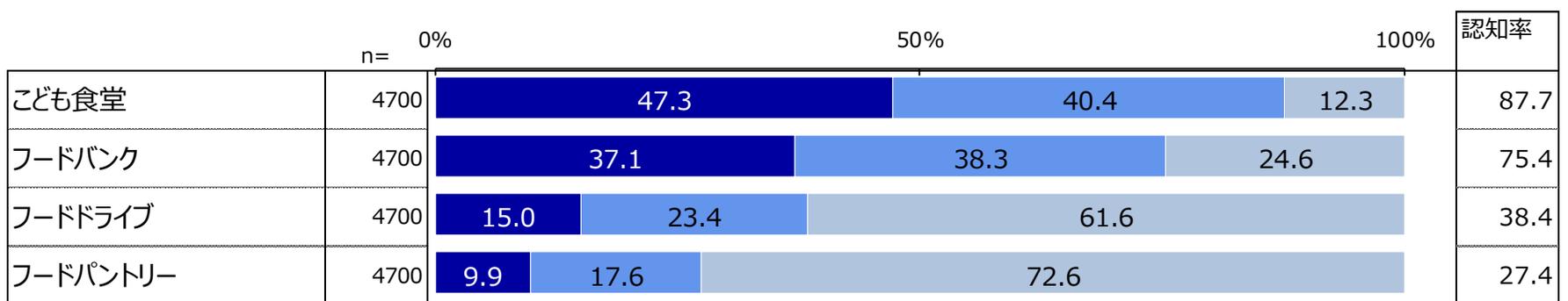
2024年

■ 名前を聞いたことがあり、内容も知っている ■ 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない ■ 名前も聞いたことがない



2023年

■ 名前を聞いたことがあり、内容も知っている ■ 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない ■ 名前も聞いたことがない



1_1 こども食堂に関する取組の認知（Q1）＜性年代別＞

「こども食堂」について、性年代別でみると、認知率は男性より女性のほうが高く、「内容も知っている」は女性ではどの年代も5割以上に対し、男性では3割～5割未満である。

認知率は前年調査と比べ、ほとんどの区分で高くなっているが、女性20代のみ前年より低下している。

Q. あなたは次の取組を知っていますか。こども食堂

■ 名前を聞いたことがあり、内容も知っている ■ 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない ■ 名前も聞いたことがない

TOTALと比べ
 ■ 有意水準1%で高い ■ 有意水準1%で低い
 ■ 有意水準5%で高い ■ 有意水準5%で低い
 ■ 有意水準10%で高い ■ 有意水準10%で低い
 ワイト/バック後の値で検定

	n=	0%	50%	100%	認知率	2023 認知率
TOTAL	4700	49.4	42.1	8.6	91.4	87.7
男性計	2308	40.6	47.9	11.6	88.4	83.1
男性15-19歳	83	47.2	27.1	25.8	74.2	70.9
男性20-29歳	348	37.0	46.1	16.8	83.2	73.8
男性30-39歳	331	30.7	48.6	20.8	79.2	76.5
男性40-49歳	438	36.2	53.7	10.1	89.9	82.0
男性50-59歳	391	47.3	45.8	6.9	93.1	84.7
男性60-69歳	474	44.3	48.1	7.6	92.4	90.8
男性70-79歳	243	46.8	49.0	4.2	95.8	94.1
女性計	2352	58.4	36.0	5.6	94.4	92.2
女性15-19歳	82	58.5	26.6	14.9	85.1	73.6
女性20-29歳	332	55.3	25.6	19.1	80.9	86.1
女性30-39歳	327	58.3	37.8	3.9	96.1	90.6
女性40-49歳	428	56.3	38.9	4.8	95.2	95.1
女性50-59歳	395	57.9	39.5	2.5	97.5	93.6
女性60-69歳	565	60.1	38.0	1.9	98.1	95.0
女性70-79歳	222	63.5	35.9		99.4	94.9
性別回答しない計	40	30.2	60.5	9.3	90.7	-

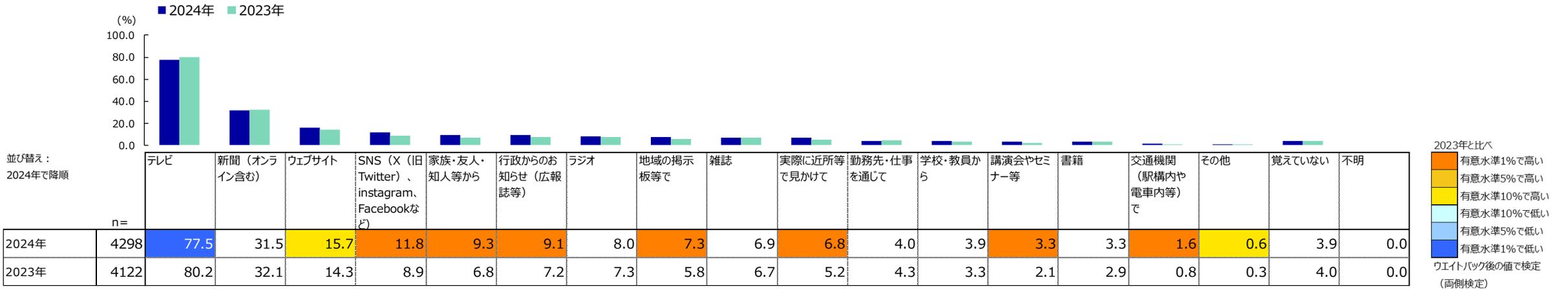
非表示：1%未満

1_2 「こども食堂」の認知経路・認知媒体（Q2・Q3） <経年比較>

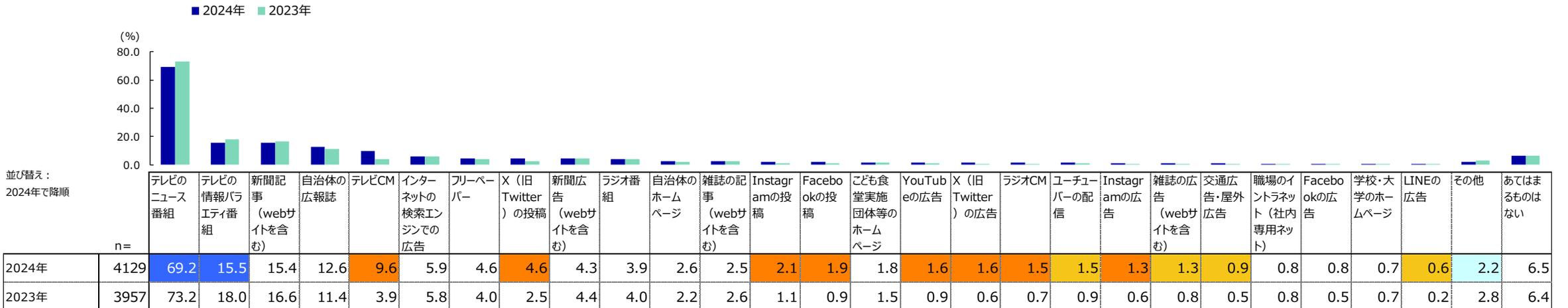
認知経路は、「テレビ」が最も高く、77.5%。「新聞（オンライン含む）」31.5%、「ウェブサイト」15.7%が続く。「テレビ」は前回より減、「ウェブサイト」「SNS」「家族・友人・知人等から」「行政からのお知らせ」などは増。

認知媒体としては、「テレビのニュース番組」が最も高く、69.2%。「テレビの情報バラエティ番組」15.5%、「新聞記事（webサイトを含む）」15.4%が続く。「テレビCM」「X」は前回より増。

Q あなたは「こども食堂」という言葉をどこで見聞きしたことがありますか。あてはまるものをすべてお答えください。



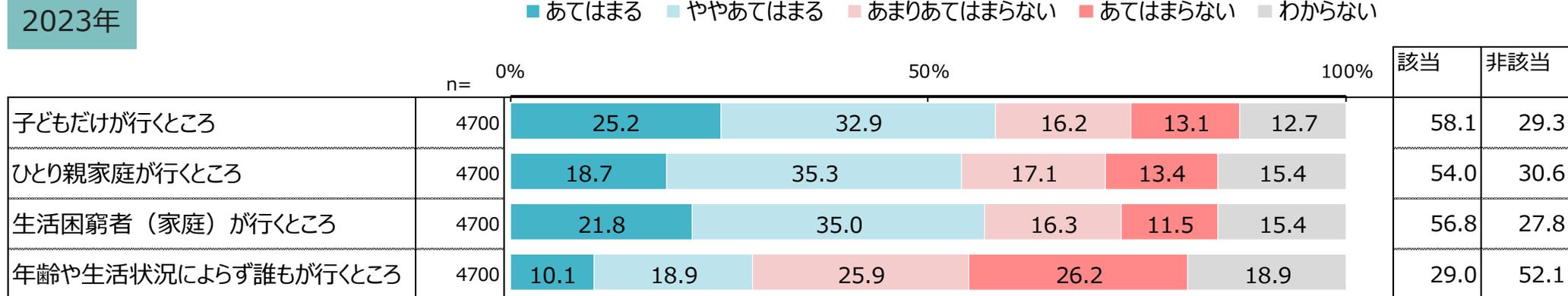
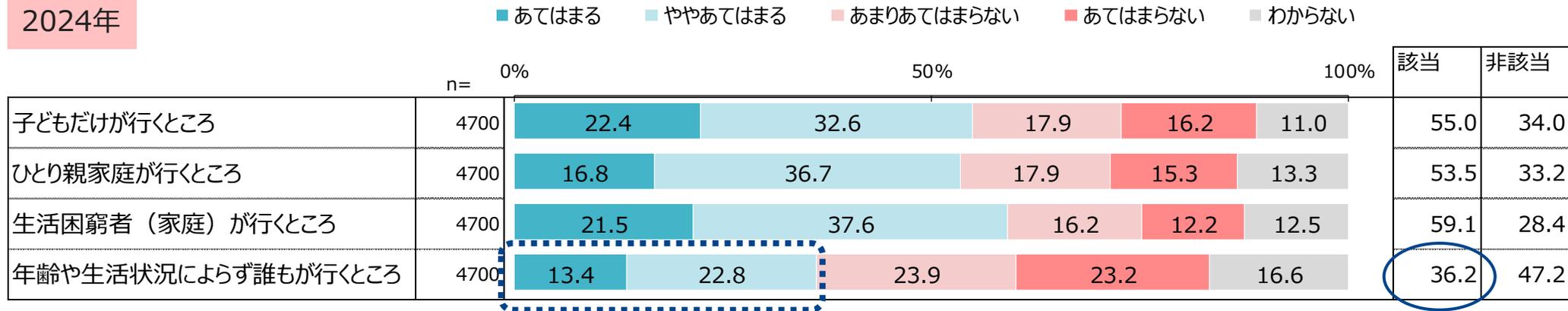
Q あなたは「こども食堂」について、どの様な媒体で見たことがありますか。あてはまるものをすべてお答えください。



2 「こども食堂」の利用対象の認識 (Q4) <経年比較>

「子どもだけが行くところ」は58.1%から55.0%に微減。「誰もが行くところ」は29.0%から36.2%と5ポイント以上増加。

Q 一般的な「こども食堂」の利用対象として、以下の人はどの程度あてはまるとお考えですか。



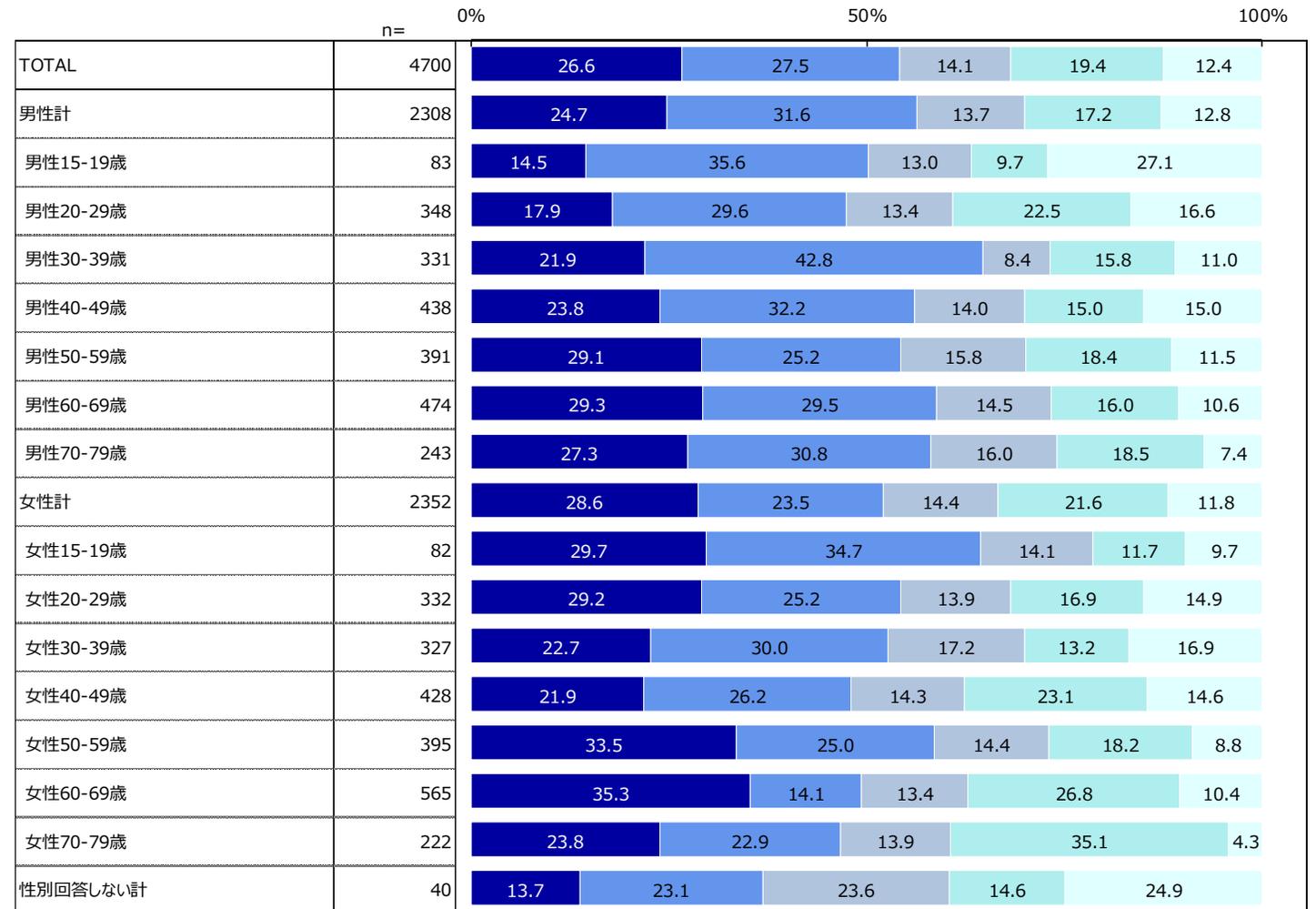
2_1 こども食堂の利用対象のイメージ（Q5）＜性年代別＞

こども食堂のイメージとして、「子どもだけが利用し食事ができる場所」が最も高く、27.5%。
 「子ども・保護者・大人・高齢者・障害者など、誰もが利用し食事ができる場所」26.6%、
 「主にひとり親世帯の子どもや保護者が利用し食事できる場所」19.4%が続く。

- 子ども・保護者・大人・高齢者・障害者など、誰もが利用し食事ができる場所
- 子どもだけが利用し食事ができる場所
- 主に生活困窮者（家庭）が利用し食事ができる場所
- 主にひとり親世帯の子どもや保護者が利用し食事できる場所
- 子どもと保護者が利用し食事できる場所

性年代別でみると、「誰もが利用できる場所」は、男性より女性が高く、女性50～69歳では特に高くなっている。

Q あなたが思う「こども食堂」のイメージに最も近いものをお答えください。



2_2 こども食堂の役割・機能のイメージ (Q6)

こども食堂の役割・機能として「大切（計）」（大切だと思う+やや大切だと思う）は、「子どもの居場所づくり」「子どもの食事提供」「ひとり親家庭の支援」が上位。

こども食堂を内容まで知っている人では、「多世代交流」「地域づくり・まちづくり」が全体より10ポイントと以上高い。

「誰もが利用」できる場所と理解している人では、多くの役割・機能を高く評価している。

Q 以下の「こども食堂」の役割・機能について、あなたはどのように感じますか。

■ こども食堂として、大切だと思う ■ こども食堂として、やや大切だと思う ■ こども食堂として、あまり大切だとは思わない ■ こども食堂として、大切だとは思わない ■ わからない

役割・機能	n=	割合 (%)					内容まで認知 (n=2322)		誰もが利用 (n=1249)	
		0%	50%	100%	大切 (計)	大切でない (計)	大切 (計)	大切 (計)		
子どもの食事提供	4700	64.4	21.8	2.6	2.2	9.9	86.2	3.9	95.4	93.9
子どもの居場所づくり	4700	62.9	23.8	3.3	3.4	8.6	86.7	4.7	95.9	94.1
ひとり親家庭の支援	4700	54.0	30.9	4.3	1.5	9.2	85.0	5.8	94.5	93.1
多世代交流	4700	32.7	33.1	13.8	6.0	14.4	65.8	19.8	75.8	86.7
地域づくり・まちづくり	4700	34.7	36.9	11.4	4.1	12.9	71.6	15.5	82.0	87.9
生活困窮家庭の支援・予防	4700	44.3	33.8	7.7	3.3	10.9	78.1	11.0	87.8	91.0
親の子育て支援	4700	40.3	35.2	9.1	3.8	11.6	75.5	12.9	85.0	88.6
子どもの見守り支援 (虐待防止)	4700	49.1	34.5	5.0	1.7	9.7	83.6	6.7	92.9	91.8
子どもの食育 (食の教育)	4700	48.0	32.8	7.4	2.7	9.1	80.8	10.1	88.6	90.4
子どもの生活習慣の習得	4700	40.1	35.8	10.4	3.3	10.4	75.9	13.7	84.2	86.6
子どもの遊び場づくり	4700	33.1	37.1	13.2	5.6	11.0	70.3	18.8	77.7	82.0
子どもの学習支援	4700	27.3	33.6	18.6	8.3	12.1	60.9	27.0	67.5	73.6
高齢者や障害者等の支援 (生きがいづくり等)	4700	22.3	29.6	20.2	11.4	16.5	51.9	31.6	60.2	78.0
食品ロス削減	4700	35.4	37.0	11.1	4.8	11.7	72.4	15.9	80.9	86.0
防災拠点	4700	27.8	31.0	17.0	8.5	15.7	58.8	25.5	65.5	71.3

全体と比べ10ポイント以上高い項目に網掛け

3 こども食堂の認知の効果 ①活動への参加・支援状況（Q7） <経年比較>

こども食堂に利用者として参加経験は、3.4%から6.1%に増加。
 運営者やボランティアとして参加経験は、3.3%から3.6%と現状維持。
 支援者（寄付者）として参加経験は、4.2%から6.4%に増加。

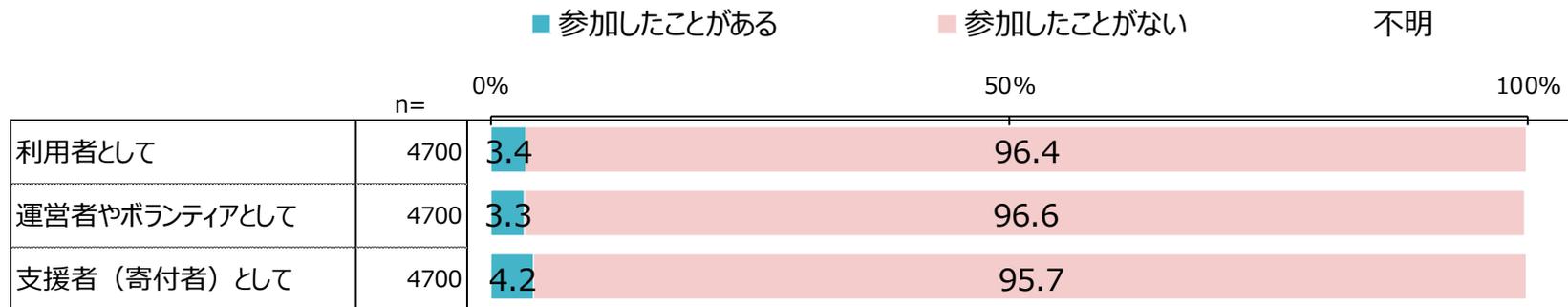
Q. あなたは「こども食堂」の活動に参加した／支援したことはありますか。

2024年



非表示：1%未満

2023年



非表示：1%未満

3 こども食堂の認知の効果 ②活動への参加/支援意向 (Q8) 【ベース：非参加者】 <経年比較>

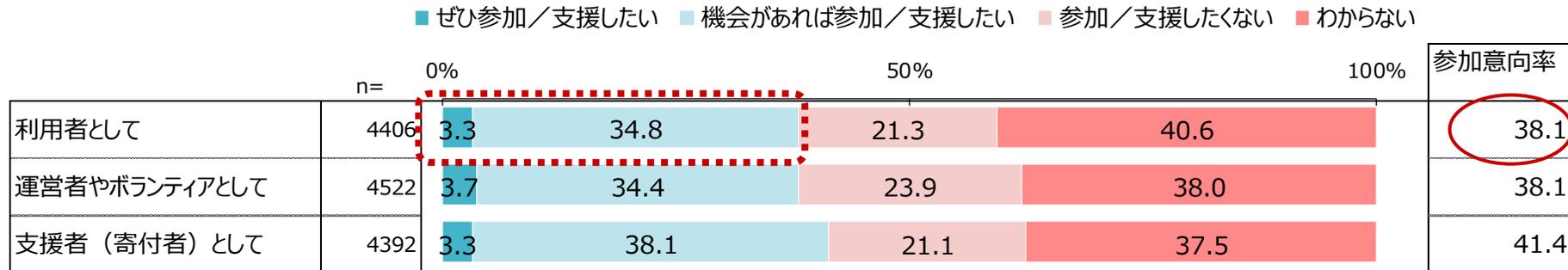
こども食堂に利用者として参加意向率は、36.3%から38.1%に増加。運営者やボランティアとして参加意向率は、39.8%から38.1%と微減。

支援者（寄付者）として参加（支援）意向率は、42.5%から41.4%と現状維持。

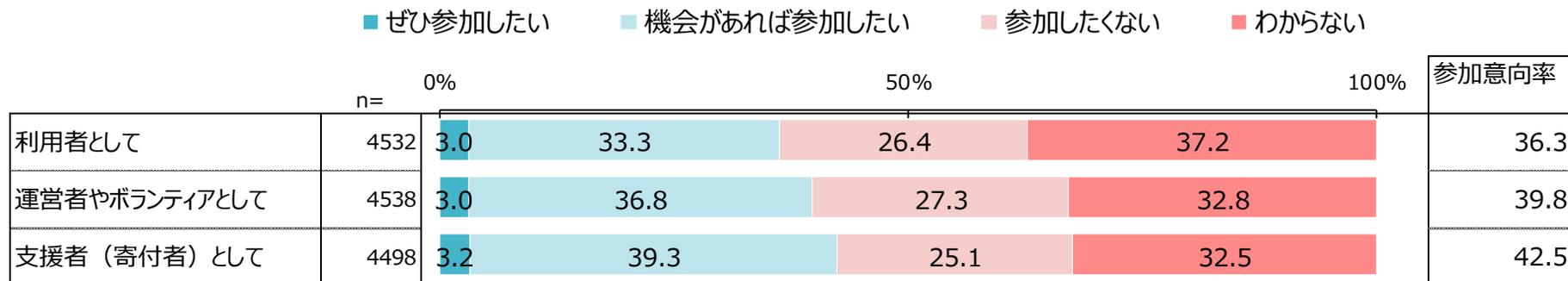
意向については利用者・運営者やボランティア・支援者いずれも前回より「参加したくない」は減少も「わからない」が増加。

Q. あなたは「こども食堂」の活動に参加してみたい/支援してみたいと思いますか。

2024年



2023年



3 こども食堂の認知の効果 ③認知度別参加状況／参加意向【ベース：全数】 <経年比較>

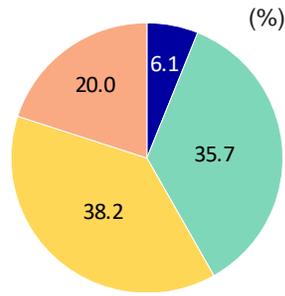
こども食堂の利用者としての参加状況を整理すると、参加経験有が6.1%、参加意向有が35.7%、参加意向不明が38.2%、参加意向無が20.0%である。

こども食堂を内容まで理解している人では参加経験有が10.4%、参加意向有が45.3%と高くなっている。

こども食堂を「誰もが利用」と理解している人では参加経験有が10.4%、参加意向有が46.6%と高くなっている。

2024年

■参加経験有 ■参加意向有 ■参加意向不明 ■参加意向無

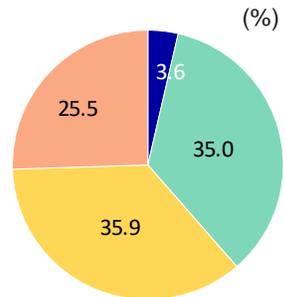


n=4700



2023年

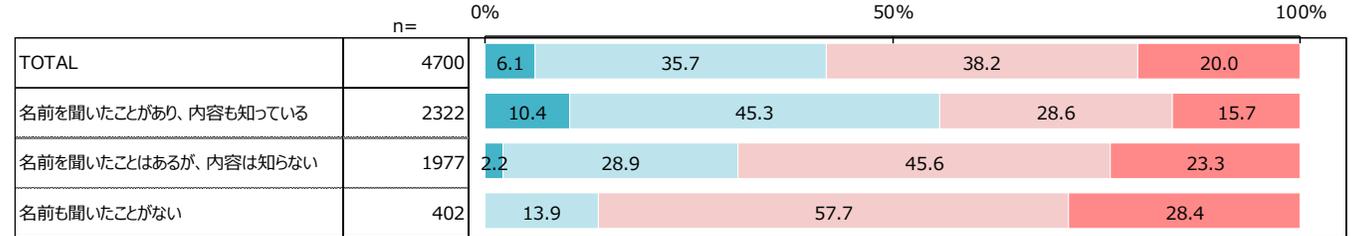
■参加経験有 ■参加意向有 ■参加意向不明 ■参加意向無



n=4700

認知度別の参加状況・参加意向 (2024年)

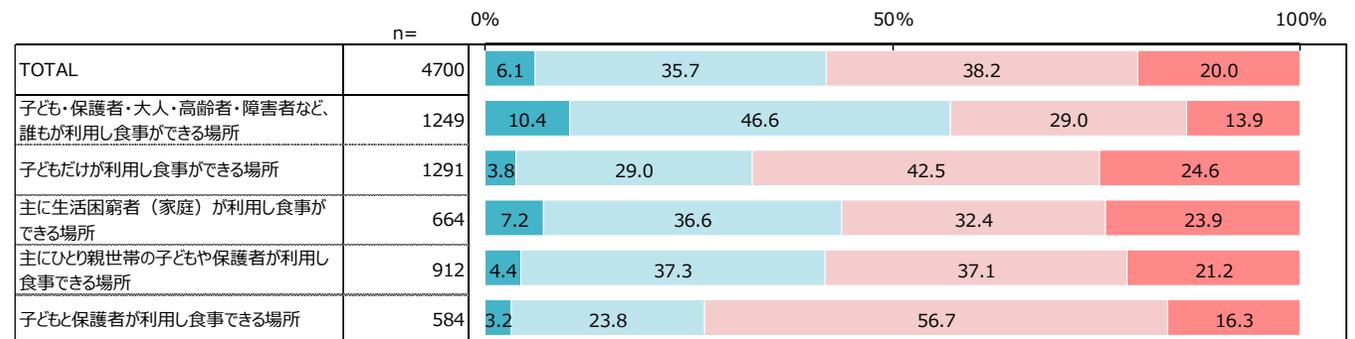
■参加経験有 ■参加意向有 ■参加意向不明 ■参加意向無



非表示：1%未満

イメージ別の参加状況・参加意向 (2024年)

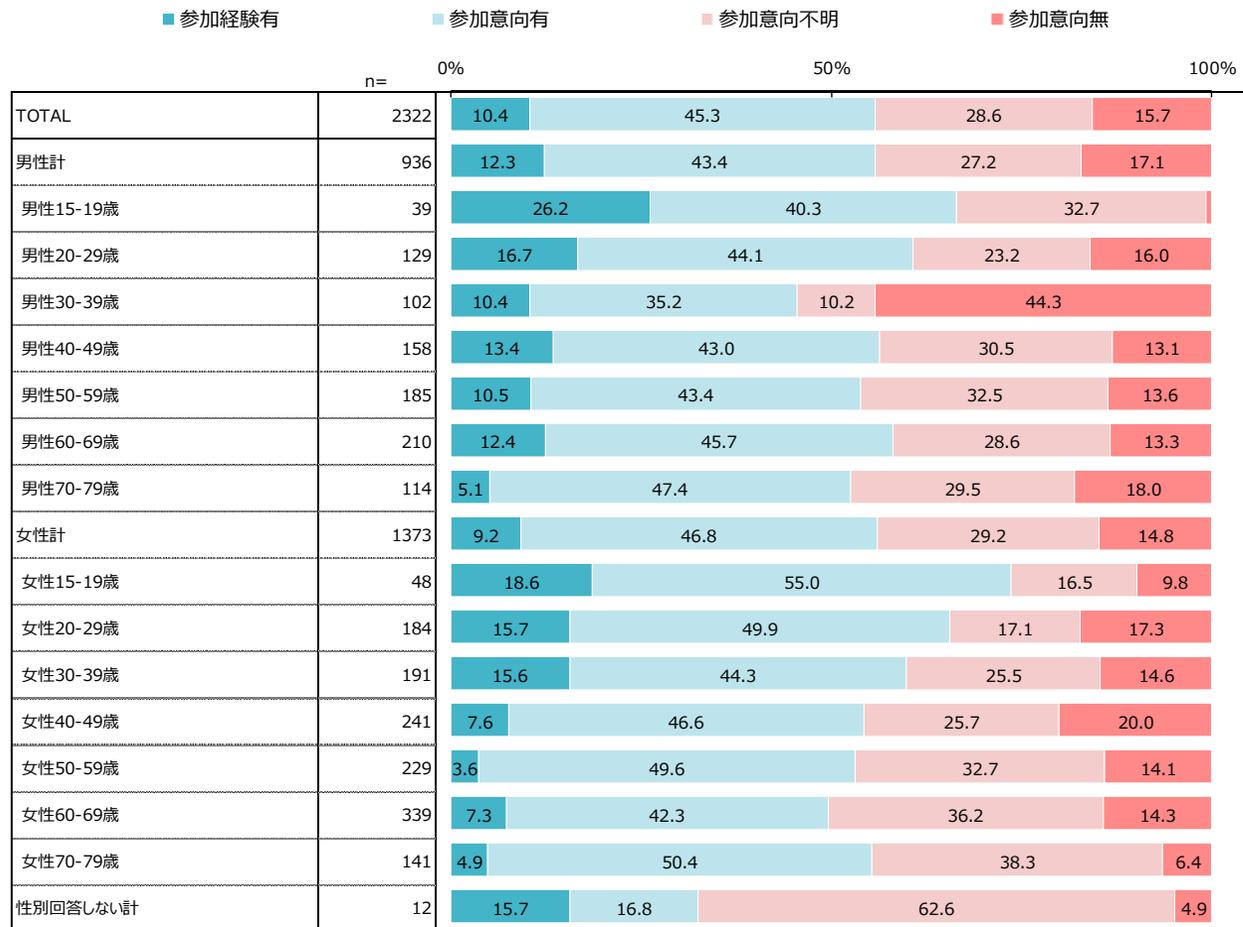
■参加経験有 ■参加意向有 ■参加意向不明 ■参加意向無



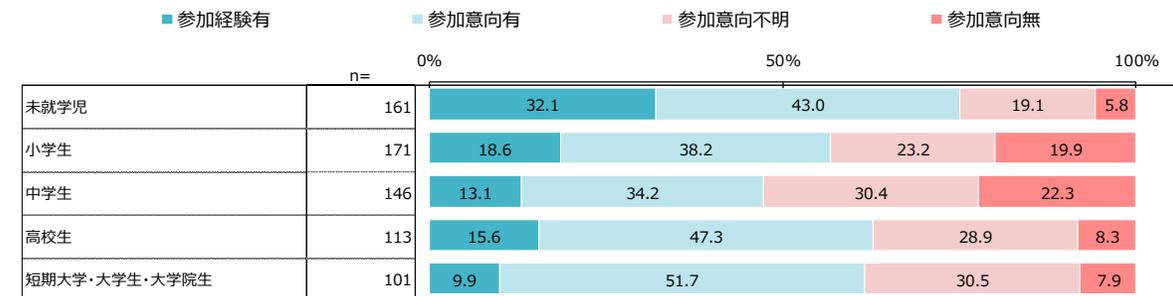
3 こども食堂の認知の効果 ④認知度別参加状況／参加意向【ベース：全数】

こども食堂を内容まで理解している人のうち、利用者としての参加状況を性年代別でみると、参加経験は「男性15-19歳」で最も高く、26.2%、「女性15-19歳」18.6%と続く。

こども食堂を内容まで理解している人のうち、同居するこどもの年齢別でみると、未就学児と同居では3割以上が参加経験有となっている。



非表示：1%未満



※「こども食堂内容認知かつ同居子ども年齢が上記」

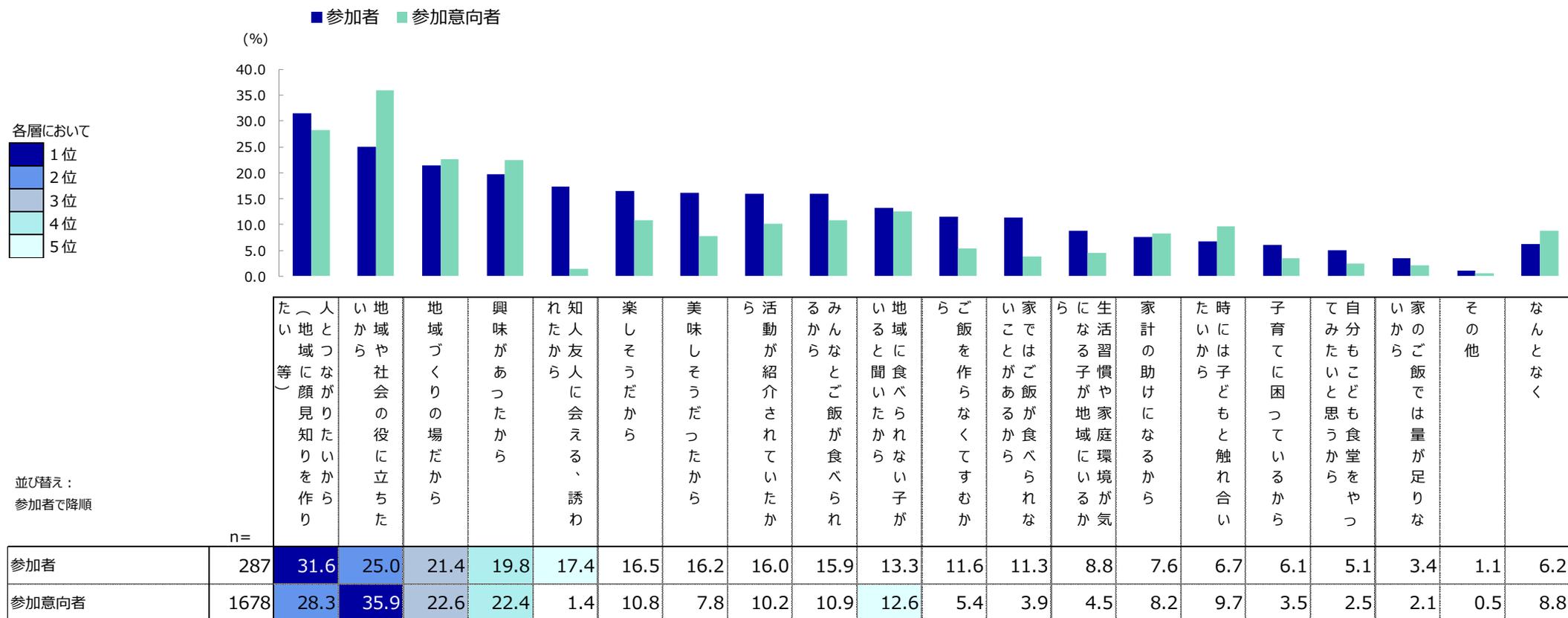
3_1 こども食堂の活動への利用者として参加／参加意向理由（複数回答）（Q9）

参加者では、「人とつながりたいから」が最も高く、31.6%。「地域や社会の役に立ちたいから」25.0%、「地域づくりの場だから」21.4%が続く。

参加意向者では、「地域や社会の役に立ちたいから」が最も高く、35.9%。「人とつながりたいから」28.3%、「地域づくりの場だから」22.6%が続く。

参加者と参加意向者で、10ポイント以上の差があるのは「知人友人に会える、誘われたから」となっている。10ポイント以上の差はないが、「美味しそうだったから」「家ではご飯が食べられないことがあるから」も差がある。

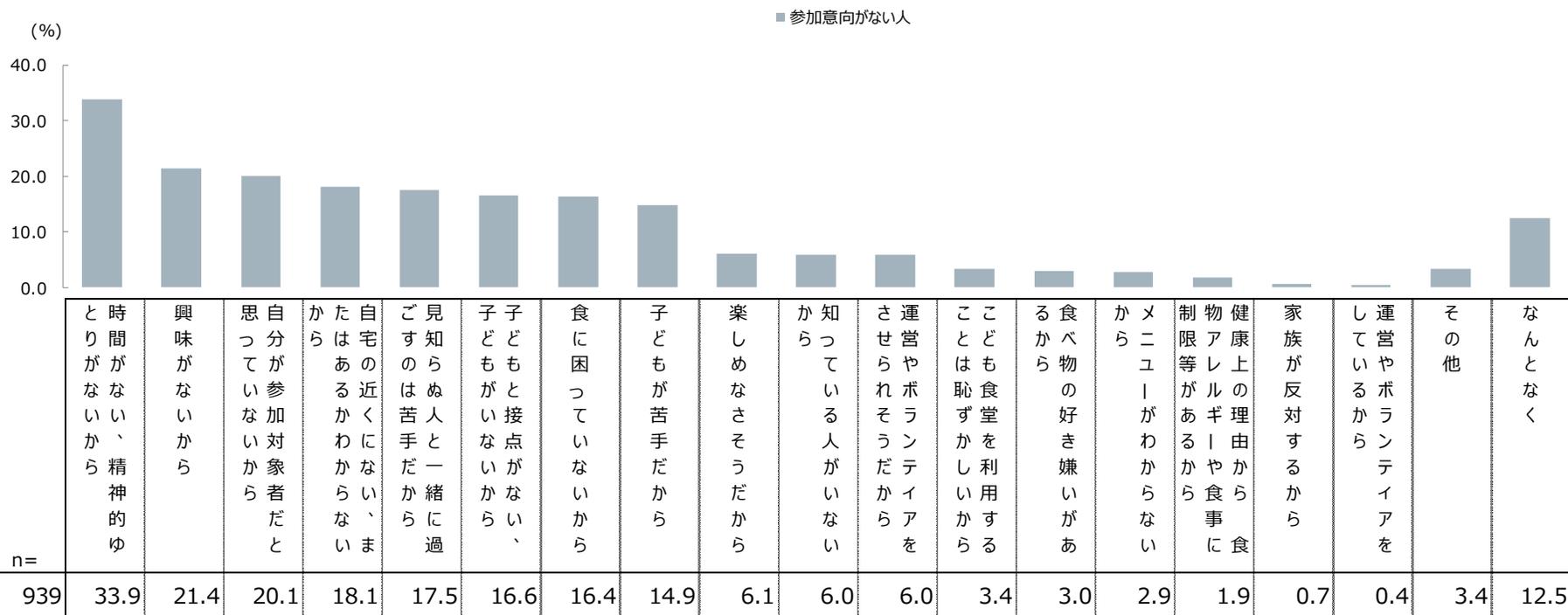
Q. あなたが「利用者として」、こども食堂の活動に参加した理由／参加してみたい理由は何ですか。



3_2 こども食堂の活動へ利用者として参加したくない理由（複数回答）（Q10）

参加意向がない人では、「時間がない、精神的ゆとりがないから」が最も高く、**33.9%**。「興味がないから」**21.4%**、「自分が参加対象者だと思っていないから」**20.1%**が続く。

Q. あなたが「利用者として」、こども食堂の活動に参加したくない理由は何ですか。



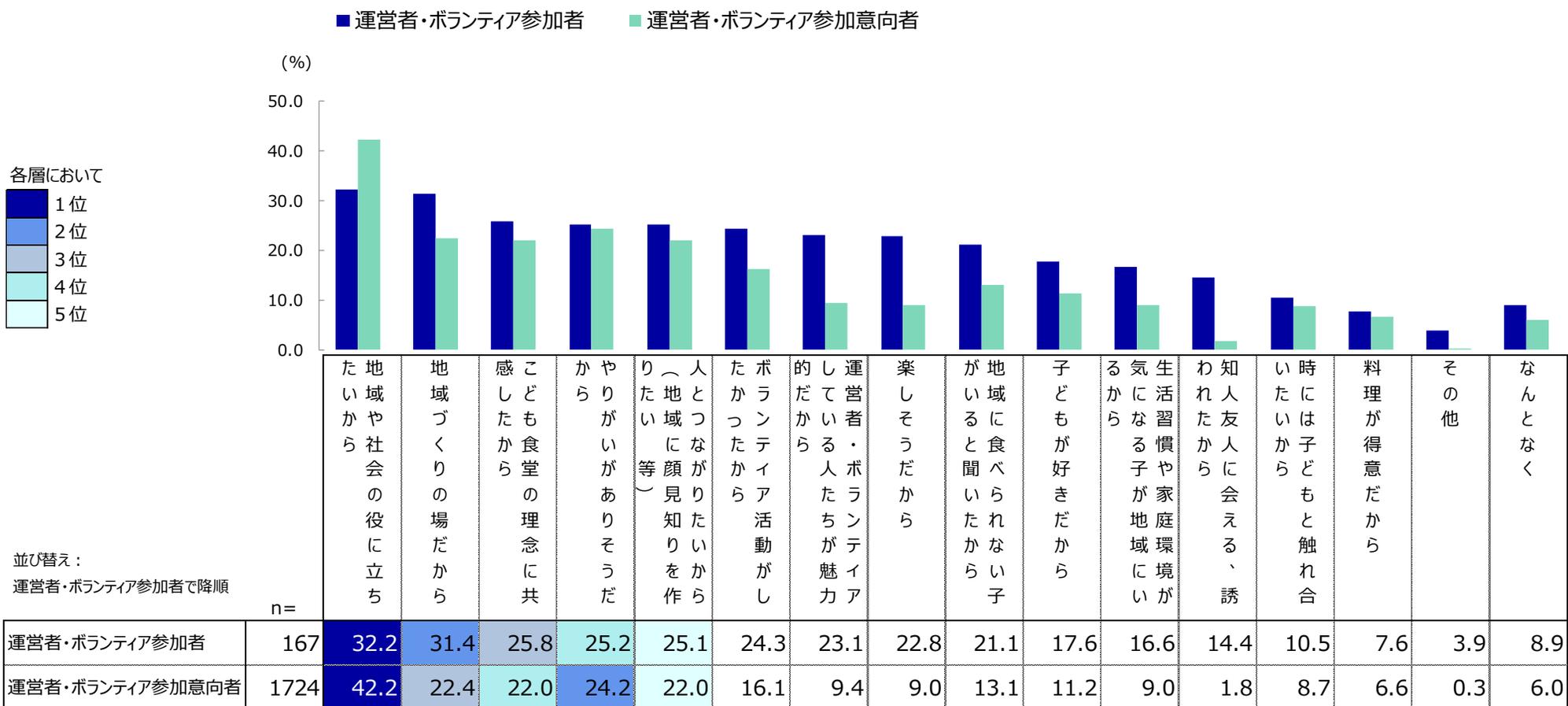
3_3 こども食堂の活動へ運営者やボランティアとして参加／参加意向理由（複数回答）（Q11）

運営者・ボランティア参加者では、「地域や社会の役に立ちたいから」が最も高く、32.2%。「地域づくりの場だから」31.4%、「こども食堂の理念に共感したから」25.8%が続く。

運営者・ボランティア参加意向者では、「地域や社会の役に立ちたいから」が最も高く、42.2%。「やりがいがありそうだから」24.2%、「地域づくりの場だから」22.4%が続く。

運営者・ボランティア参加者と参加意向者で、10ポイント以上の差があるのは「楽しそうだから」「運営者・ボランティアしている人たちが魅力的だから」「知人友人に会える、誘われたから」となっている。

Q. あなたが「運営者やボランティアとして」、こども食堂の活動に参加した理由／参加してみたい理由は何ですか。



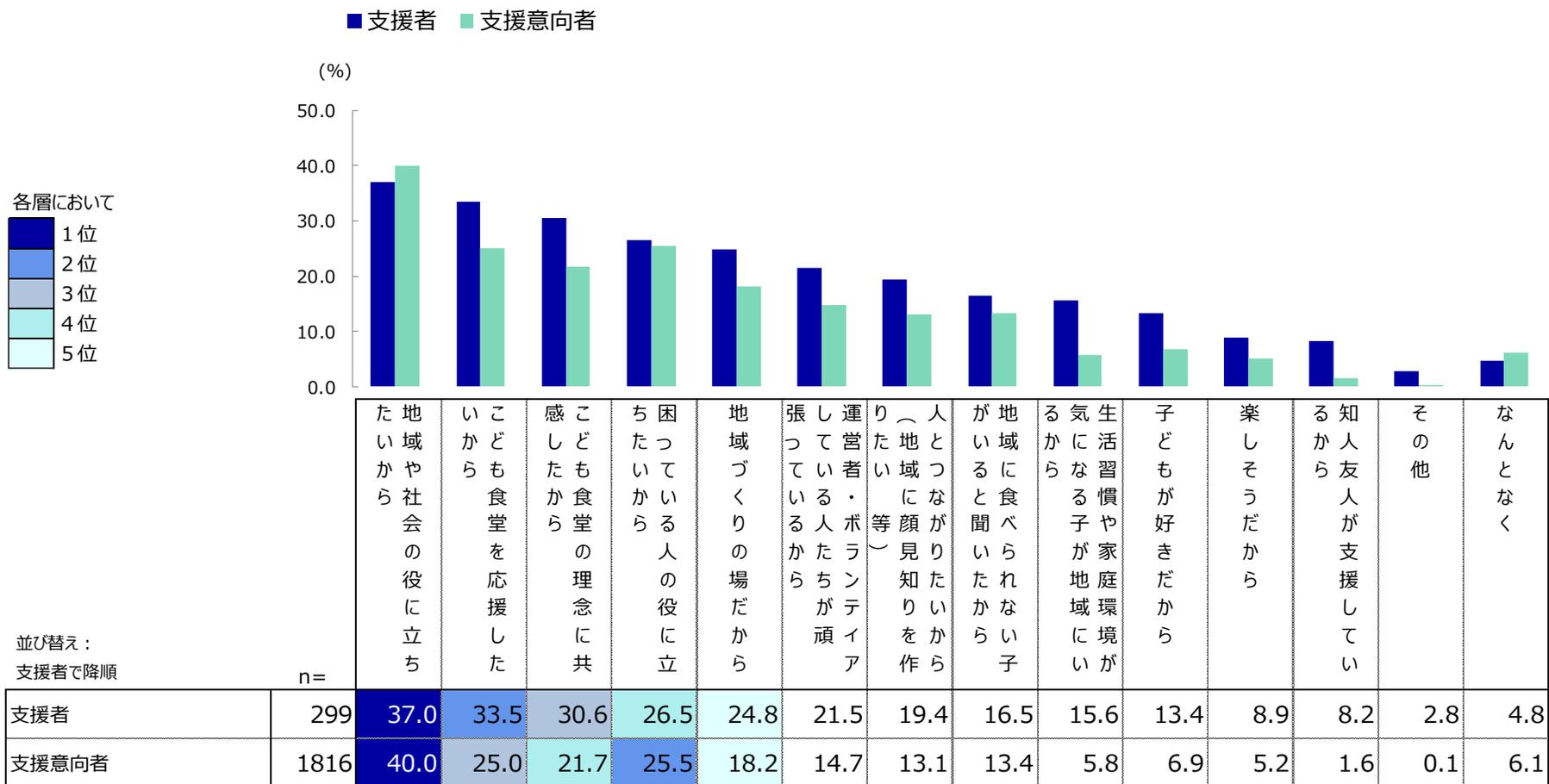
3_4 こども食堂の活動へ支援者（寄付者）として参加／参加意向理由（複数回答）（Q12）

支援者では、「地域や社会の役に立ちたいから」が最も高く、**37.0%**。「こども食堂を応援したいから」**33.5%**、「こども食堂の理念に共感したから」**30.6%**が続く。

支援意向者では、「地域や社会の役に立ちたいから」が最も高く、40.0%。「困っている人の役に立ちたいから」25.5%、「こども食堂を応援したいから」25.0%が続く。

支援者と支援意向者で、10ポイント以上の差がある項目はないが、最も差がある項目は「生活習慣や家庭環境が気になる子が地域にいるから」となっており、支援者の方が高い。

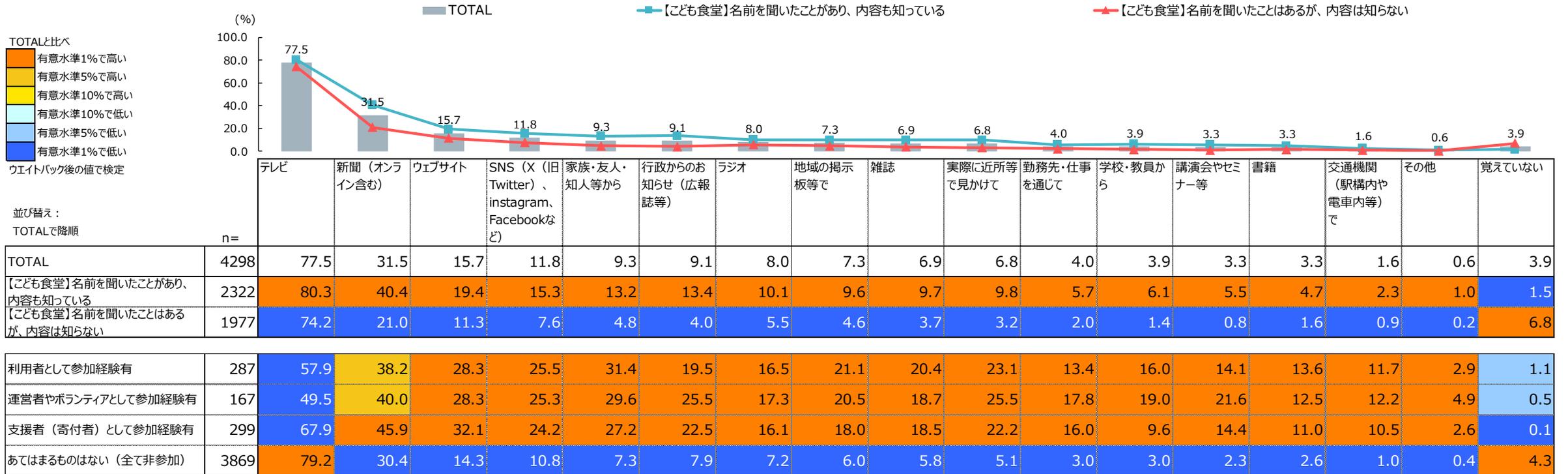
Q. あなたが「支援者（寄付者）として」、こども食堂の活動を支援した理由／支援してみたい理由は何ですか。



3_5 こども食堂の認知経路の状況 ①認知・経験別

認知経路について、こども食堂を内容も知っている人と内容は知らない人で差が大きい項目は、「新聞」「行政からのお知らせ」「家族・友人・知人等から」となっている。

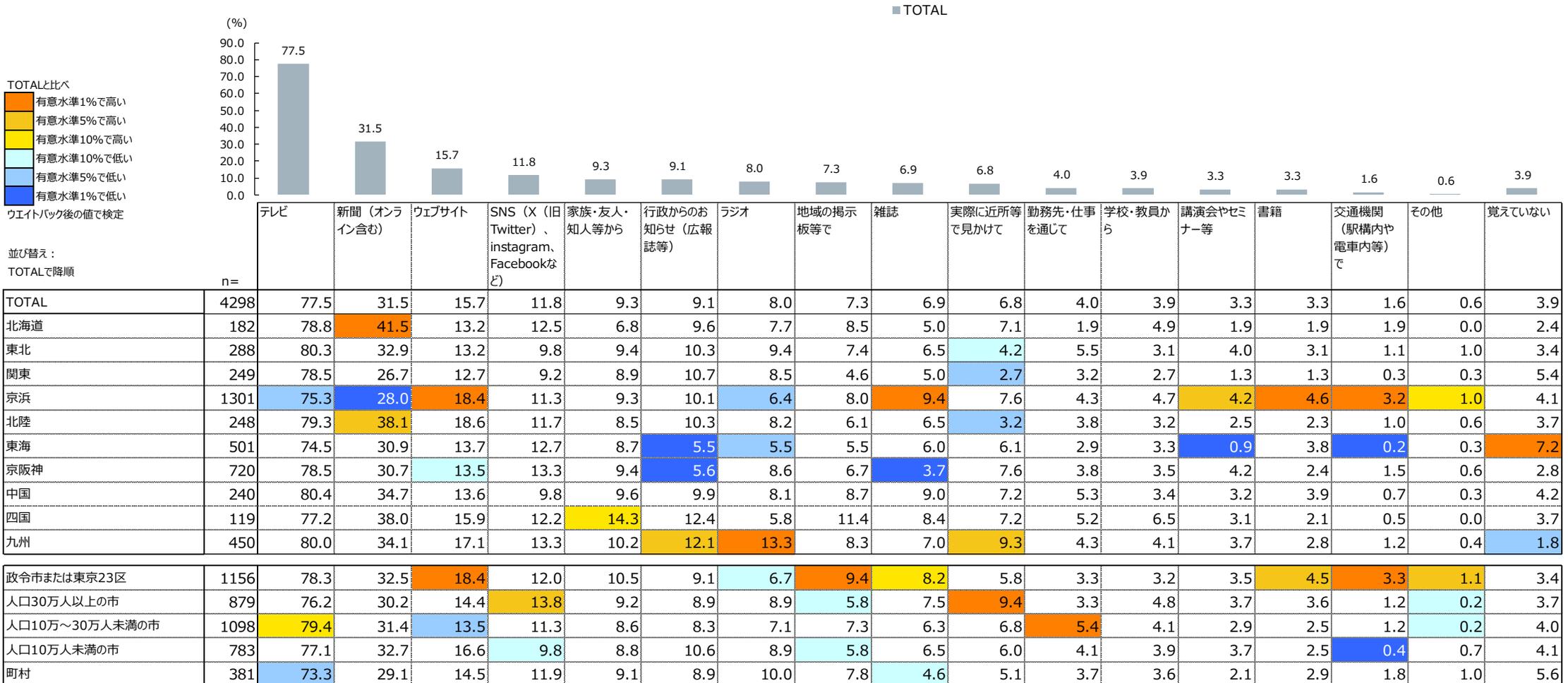
こども食堂に参加経験のある人とそうでない人を比べると、参加経験のある人では「家族・友人・知人等から」「実際に近所等で見かけて」の差が大きい。また、利用者として参加経験のある人では「地域の掲示板等で」、運営やボランティアとして参加経験のある人では「講演会やセミナー等」、支援者として参加経験のある人では「ウェブサイト」の差が大きくなっている。



3_5 こども食堂の認知経路の状況 ②エリア・都市規模別

認知経路について、エリア別でみると、「テレビ」「新聞」は京浜で他の地域より低く、「ウェブサイト」は高い。「行政からのお知らせ」や「ラジオ」は九州で高い。

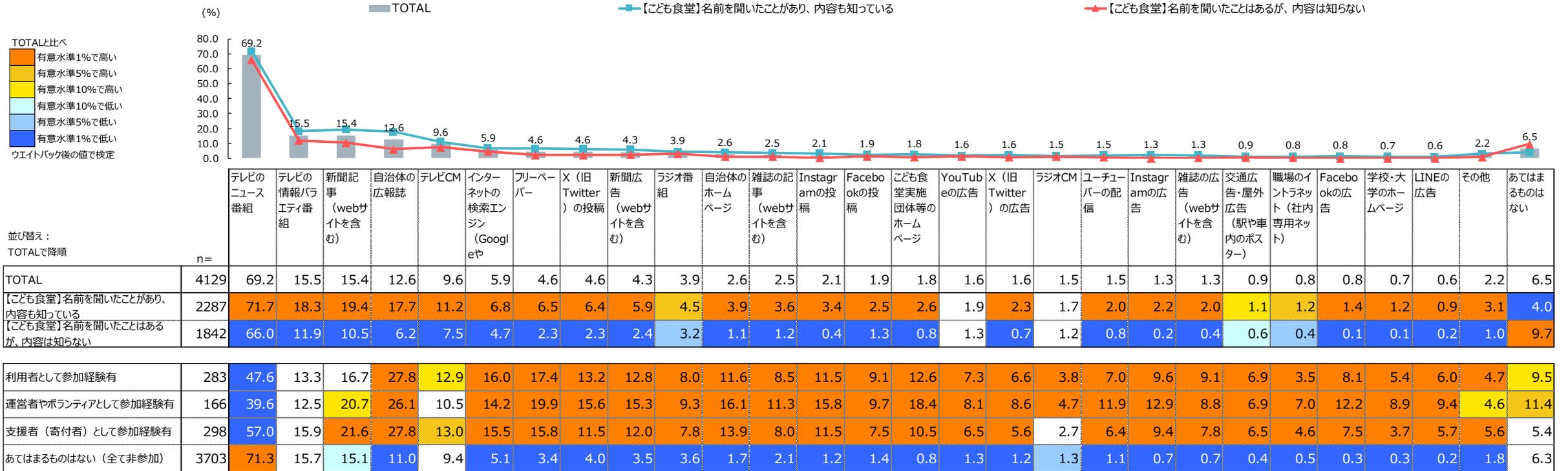
都市規模別でみると、「ウェブサイト」「地域の掲示板等で」「交通機関」は政令市または東京23区で高くなっている。



3_6 こども食堂の認知媒体の状況 ①認知・経験別

認知媒体について、こども食堂を内容も知っている人と内容は知らない人で差が大きい項目は、「自治体の広報誌」「新聞記事」「テレビの情報バラエティ番組」となっている。

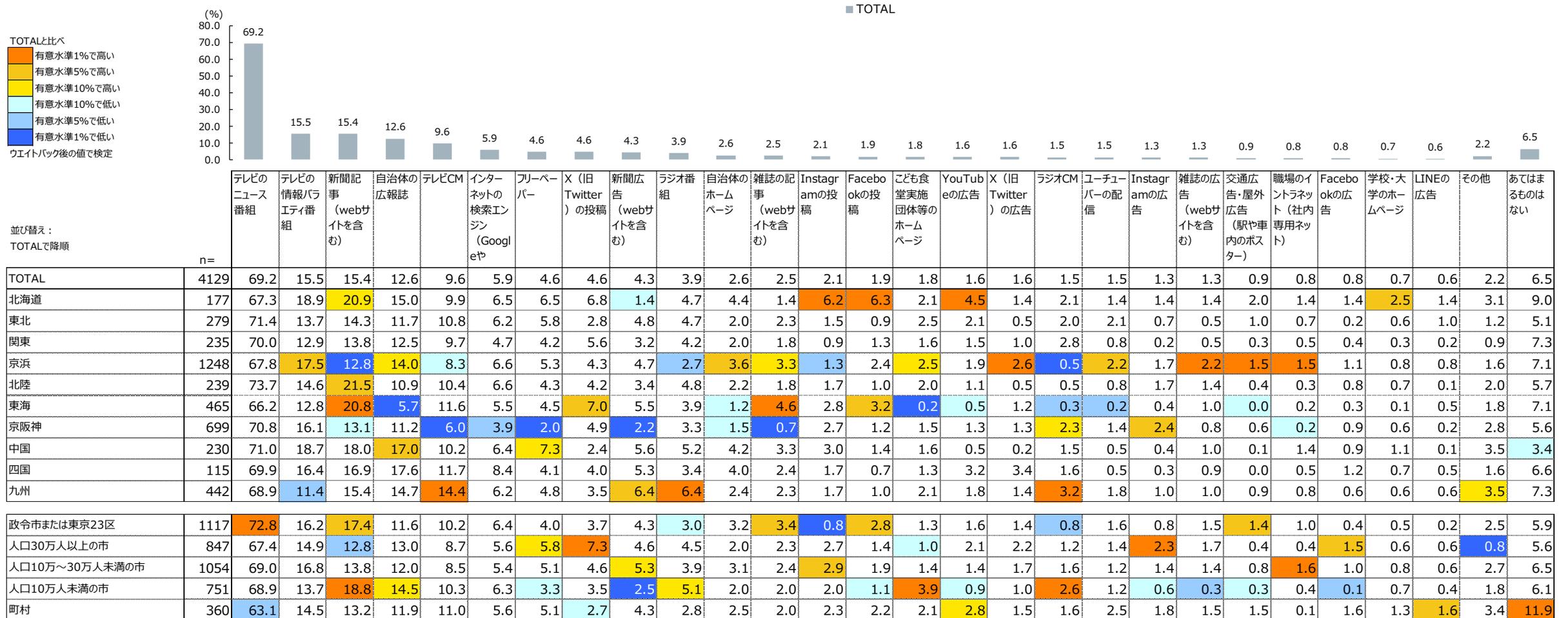
こども食堂に参加経験のある人とそうでない人を比べると、参加経験のある人では「自治体の広報誌」「フリーペーパー」の差が大きい。また、利用者や運営・ボランティアとして参加経験のある人では「こども食堂実施団体のホームページ」、支援者として参加経験のある人では「自治体のホームページ」の差が大きくなっている。



3_6 こども食堂の認知媒体の状況 ②エリア・都市規模別

認知媒体について、エリア別でみると、「テレビCM」は京阪神で他の地域より低く、九州で高い。また、「ラジオ番組」「ラジオCM」は九州で高く、「自治体の広報誌」は東海で低い。

都市規模別でみると、「テレビのニュース番組」は政令市または東京23区で高くなっている。



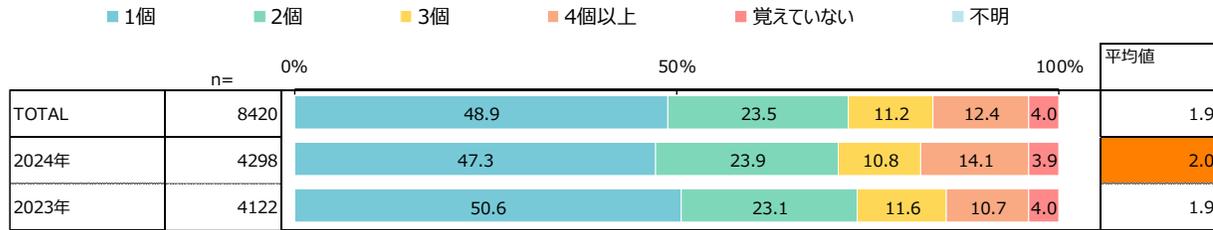
3_7 こども食堂の認知経路数

こども食堂の認知経路について、回答数を集計したところ、2024年は平均値2.0と微増。

認知経路の数が増えるほど、こども食堂について「内容も知っている」割合は高くなっており、4個以上では84.8%となっている。

こども食堂のイメージについて、「誰もが利用」は認知経路の数が増えるほど高くなっており、4個以上では44.0%となっている。

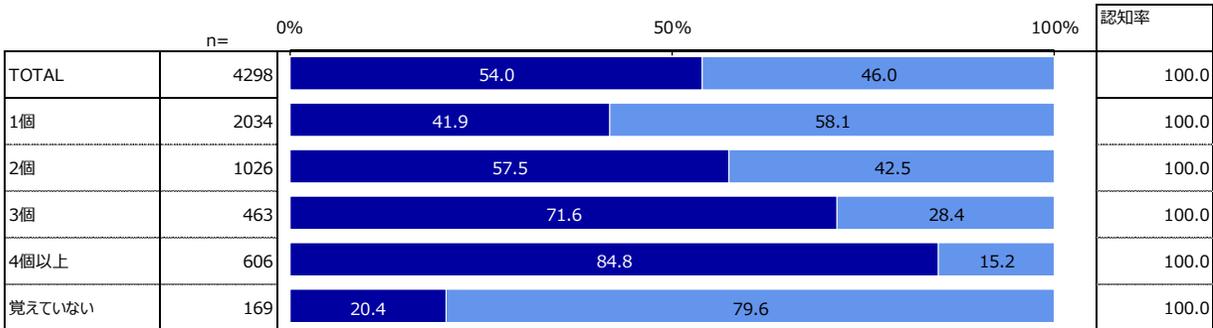
認知経路数



非表示：1%未満
2023年と比べ
 ■ 有意水準1%で高い ■ 有意水準1%で低い
 ■ 有意水準5%で高い ■ 有意水準5%で低い
 ■ 有意水準10%で高い ■ 有意水準10%で低い
 ウェイトバック後の値で検定
 (両側検定)

こども食堂の認知

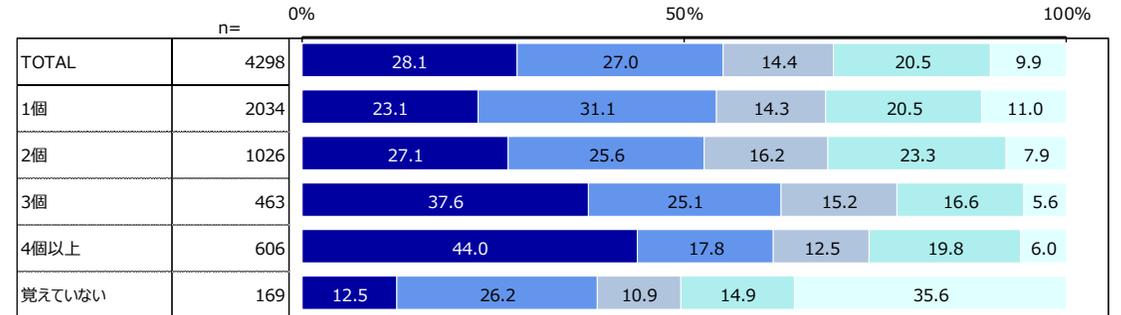
■ 名前を聞いたことがあり、内容も知っている ■ 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない ■ 名前も聞いたことがない



非表示：1%未満

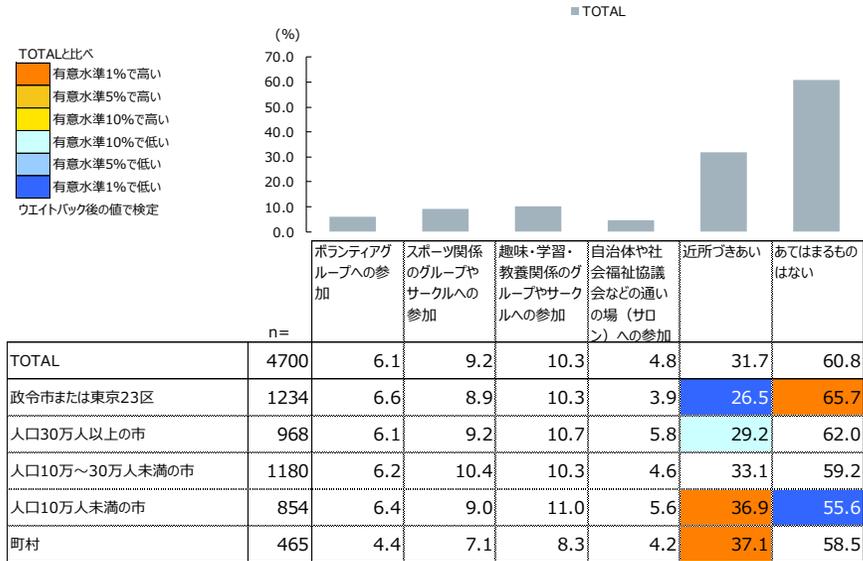
こども食堂のイメージ

■ 子ども・保護者・大人・高齢者・障害者など、誰もが利用し食事ができる場所
 ■ 子どもだけが利用し食事ができる場所
 ■ 主に生活困窮者（家庭）が利用し食事ができる場所
 ■ 主にひとり親世帯の子どもや保護者が利用し食事できる場所
 ■ 子どもと保護者が利用し食事できる場所



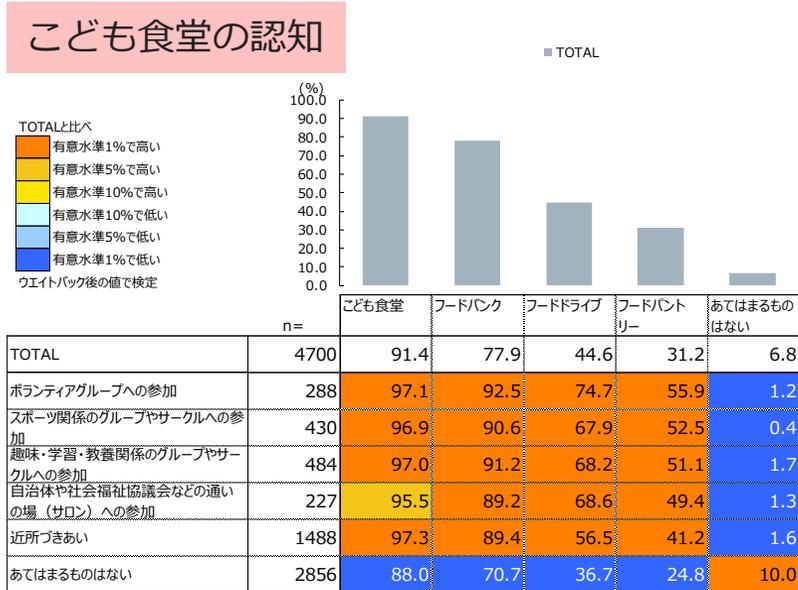
4 2024年度の実態分析 ①社会的つながりとの関係

社会的つながりは、「近所づきあい」が31.7%と最も高く、「趣味等のグループやサークルへの参加」が10.3%、「スポーツ関係のグループやサークルへの参加」が9.2%と続く。5項目いずれも参加していない（あてはまるものはない）は60.8%となっている。「近所づきあい」は都市規模が小さくなるほど高い割合となっている。



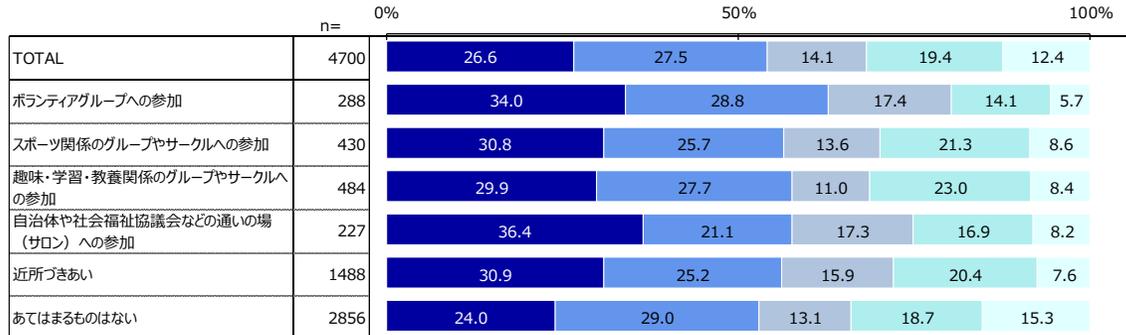
	ボランティアグループへの参加	スポーツ関係のグループやサークルへの参加	趣味・学習・教養関係のグループやサークルへの参加	自治体や社会福祉協議会などの通いの場（サロン）への参加	近所づきあい	あてはまるものはない
TOTAL	6.1	9.2	10.3	4.8	31.7	60.8
男性計	6.0	10.1	9.3	5.1	29.2	64.0
男性15-19歳	16.3	18.5	25.3	1.4	13.3	60.6
男性20-29歳	11.0	12.9	13.9	6.3	17.2	71.2
男性30-39歳	3.3	5.4	7.2	1.9	12.9	82.3
男性40-49歳	5.5	9.1	9.1	5.4	29.0	66.6
男性50-59歳	3.6	8.3	5.7	4.0	25.3	69.9
男性60-69歳	5.7	12.8	8.9	7.2	42.7	50.9
男性70-79歳	4.4	8.8	7.3	5.9	54.2	41.6
女性計	6.3	8.1	11.3	4.6	34.2	57.5
女性15-19歳	10.5	9.3	16.2	4.6	15.6	66.0
女性20-29歳	11.3	9.3	14.4	5.3	18.0	68.2
女性30-39歳	5.5	4.4	8.0	5.6	21.1	70.3
女性40-49歳	2.8	3.0	4.2	2.8	27.7	67.0
女性50-59歳	2.0	3.6	9.8	2.0	31.3	61.5
女性60-69歳	8.7	11.6	13.6	6.2	53.1	40.4
女性70-79歳	6.7	20.1	19.9	6.0	54.8	37.1
性別回答しない計	5.3	18.5	12.8	4.6	24.7	65.8

用語認知は何等か社会的つながりのある人の方がいずれも高い。「誰でも利用」理解は、「通いの場参加」「ボランティアグループ参加」などで高い。



- 子ども・保護者・大人・高齢者・障害者など、誰もが利用し食事ができる場所
- 子どもだけが利用し食事ができる場所
- 主に生活困窮者（家庭）が利用し食事ができる場所
- 主にひとり親世帯の子どもや保護者が利用し食事できる場所
- 子どもと保護者が利用し食事できる場所

こども食堂のイメージ



4 2024年度の実態分析 ②社会的つながりと参加状況

利用者としての参加・参加意向を社会的つながり別にみると、ボランティアグループへ参加している人では、参加経験有の割合が39.2%と高く、次いで自治体や社会福祉協議会などの通いの場（サロン）へ参加している人で35.7%となっている。5項目いずれも参加していない（あてはまるものはない）人では参加経験有は2.8%と低い。

利用者としての参加

■ 参加経験有 ■ 参加意向有 ■ 参加意向不明 ■ 参加意向無

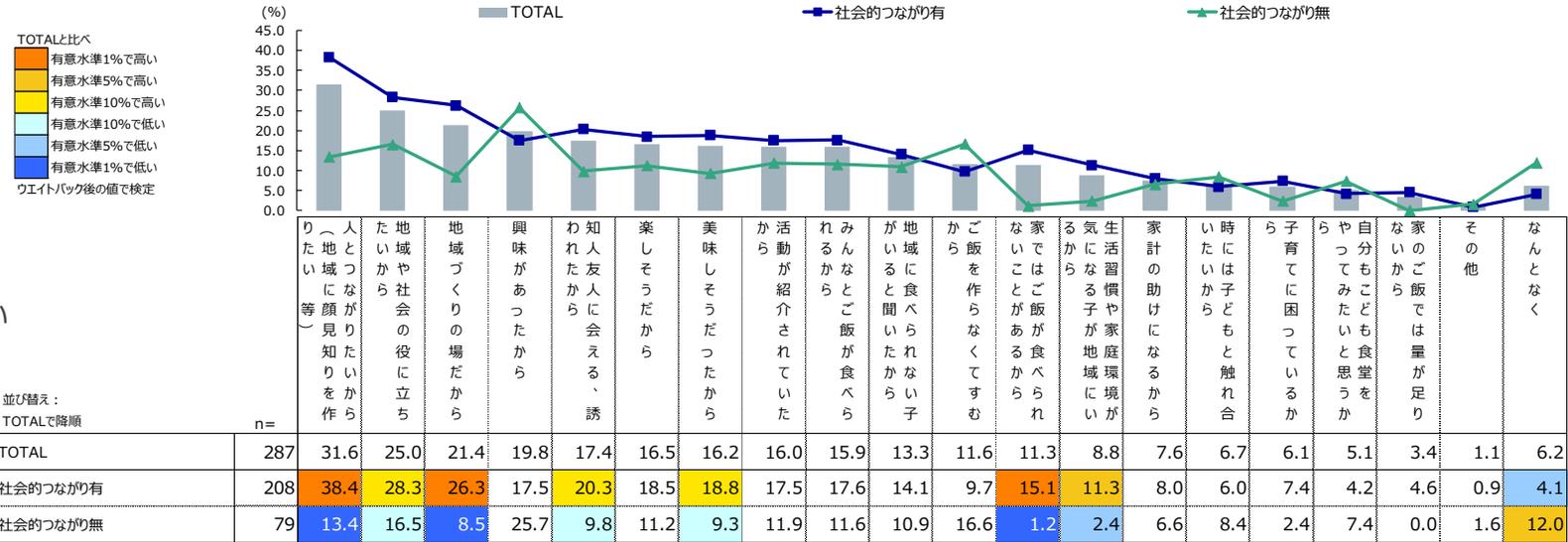
n= 0% 50% 100%



4 2024年度の実態分析 ③社会的つながりの有無と参加・非参加理由

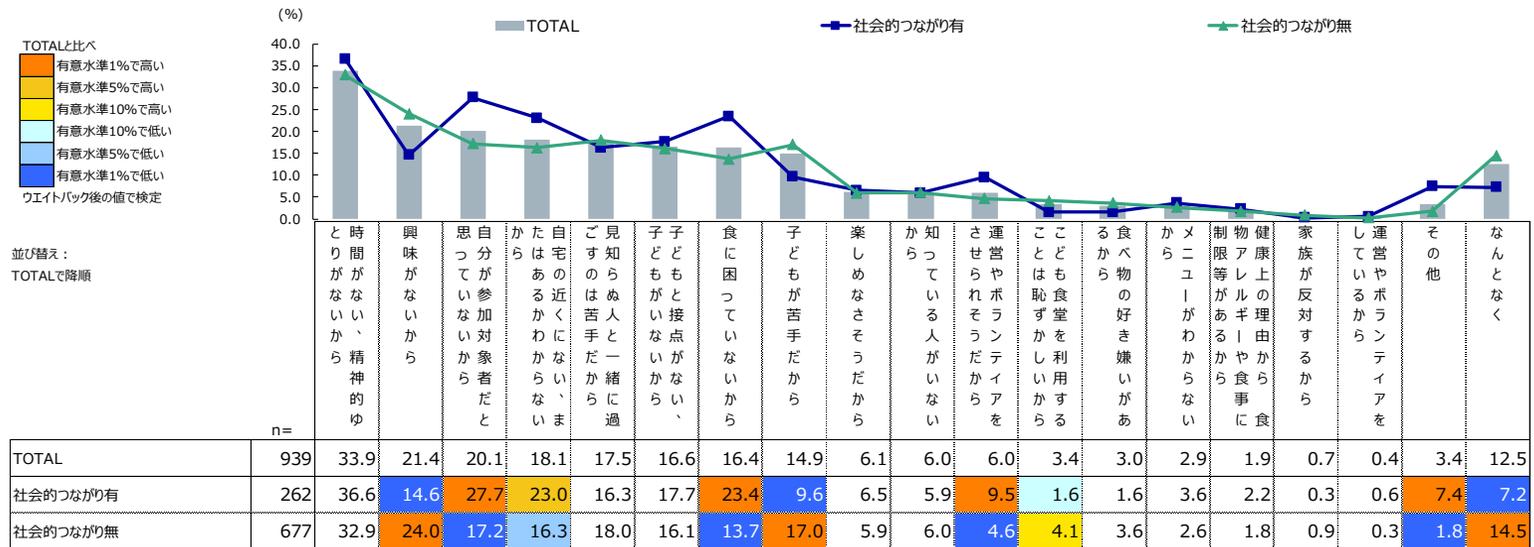
利用者としての参加理由を、社会的つながりの有無でみると、社会的つながりのない人では、ある人より「なんとなく」が高くなっている。

利用者として参加の理由



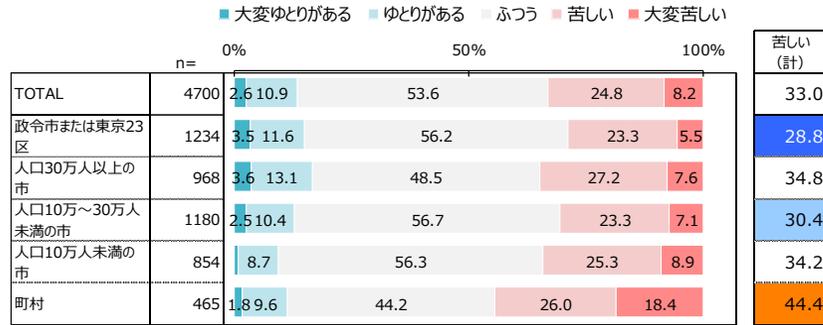
利用者としての非参加の理由を、社会的つながりの有無でみると、社会的つながりのない人では、ある人より「興味がないから」「子どもが苦手だから」「何となく」が高くなっている。
一方で、「自分が参加対象だと思っていないから」「食に困っていないから」「近くにない、またはあるかわからないから」は社会的つながりがある人の方が高くなっている。

利用者として非参加の理由



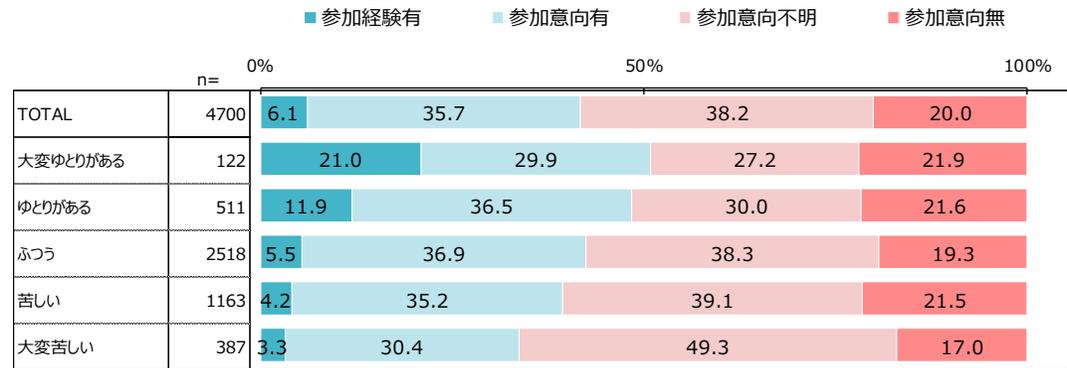
4 2024年度の実態分析 ④暮らしぶりとの関係

暮らしぶりは、「苦しい（計）」が33.0%。都市規模別でみると、町村では44.4%と最も高く、政令市または東京23区では28.8%と低い。
暮らしぶりを性年代別でみると、「苦しい（計）」は、男女とも30代が他の年代より高い。



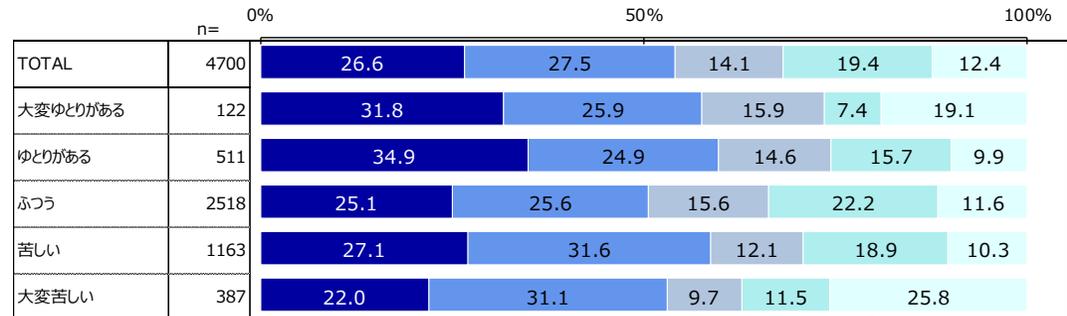
利用者としての参加・参加意向を暮らしぶり別にみると、ゆとりがあるほど参加経験有の割合が高く、「大変ゆとりがある」では参加経験有は21.0%に対し、「大変苦しい」では3.3%と低い。こども食堂のイメージとして、暮らしぶり別にみると、『誰もが利用』は「大変苦しい」で22.0%と低くなっている。

利用者としての参加



こども食堂のイメージ

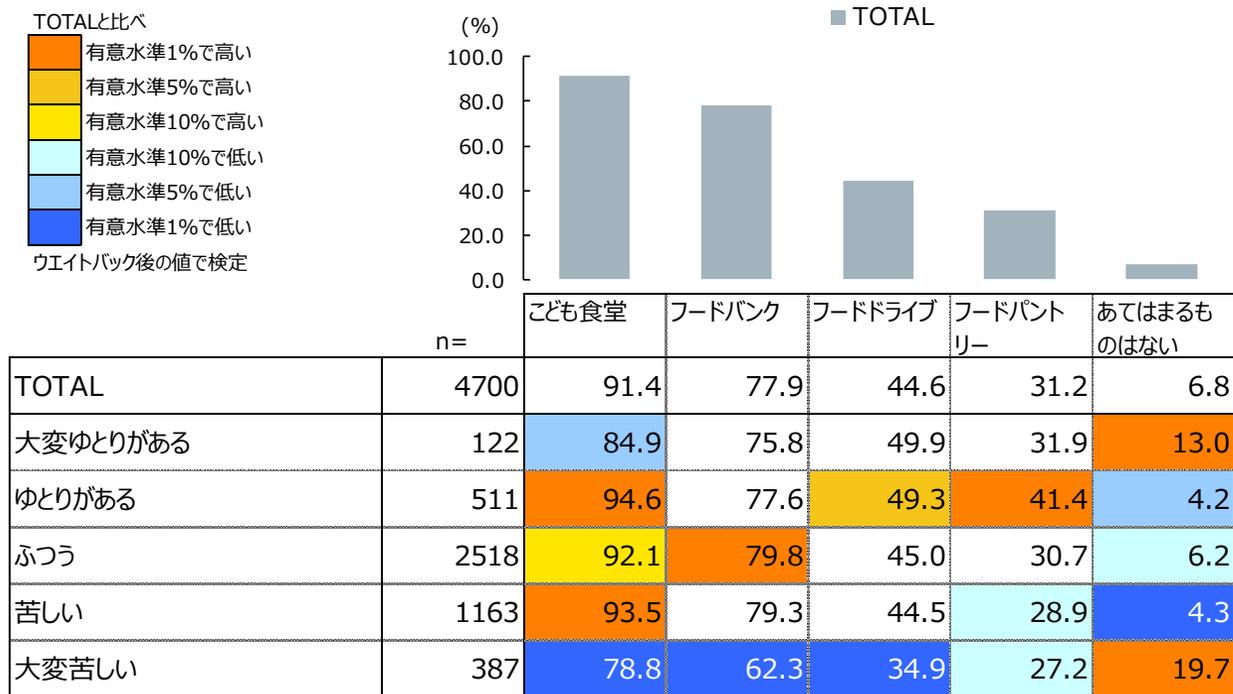
- 子ども・保護者・大人・高齢者・障害者など、誰もが利用し食事ができる場所
- 子どもだけが利用し食事ができる場所
- 主に生活困窮者（家庭）が利用し食事ができる場所
- 主にひとり親世帯の子どもや保護者が利用し食事できる場所
- 子どもと保護者が利用し食事できる場所



4 2024年度の実態分析 ⑤暮らしぶりと認知状況

用語認知を暮らしぶり別にみると、『こども食堂』は「苦しい」で93.5%と「ゆとりがある」に次いで高いものの、「大変苦しい」で78.8%と低い。また、「大変苦しいでは4項目いずれも低く、どれも認知していない人が19.7%となっている。

こども食堂の認知

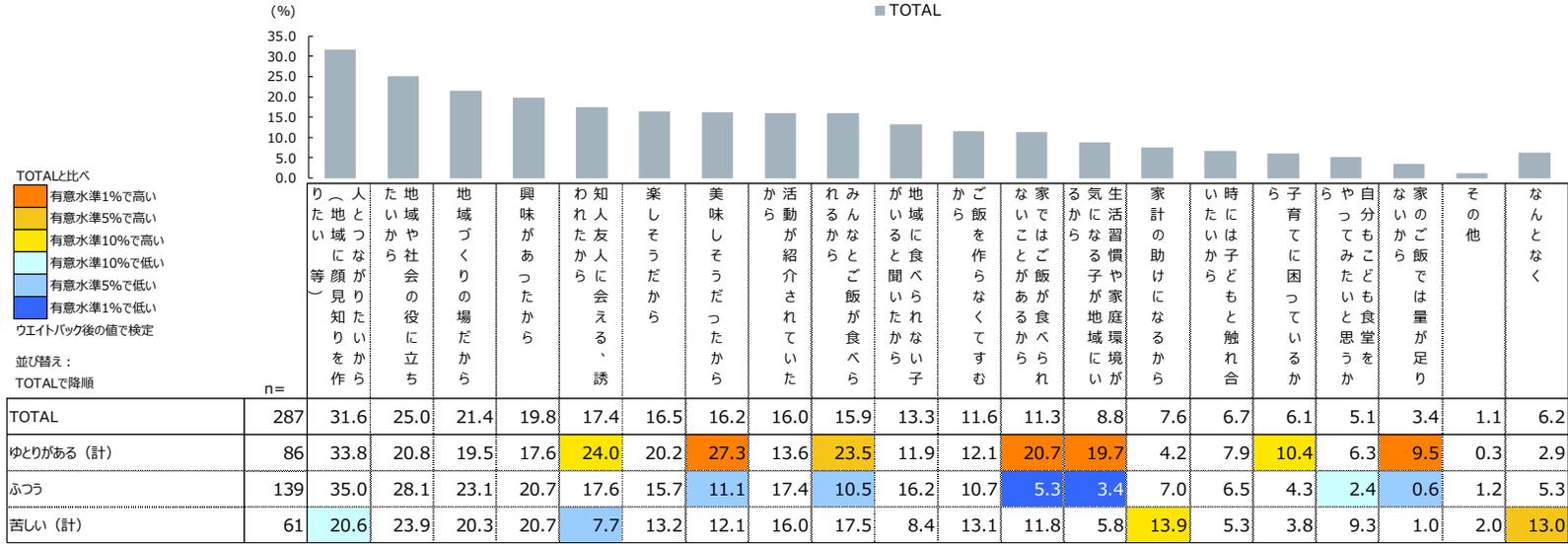


4 2024年度の実態分析 ⑥暮らしぶりと参加・非参加理由

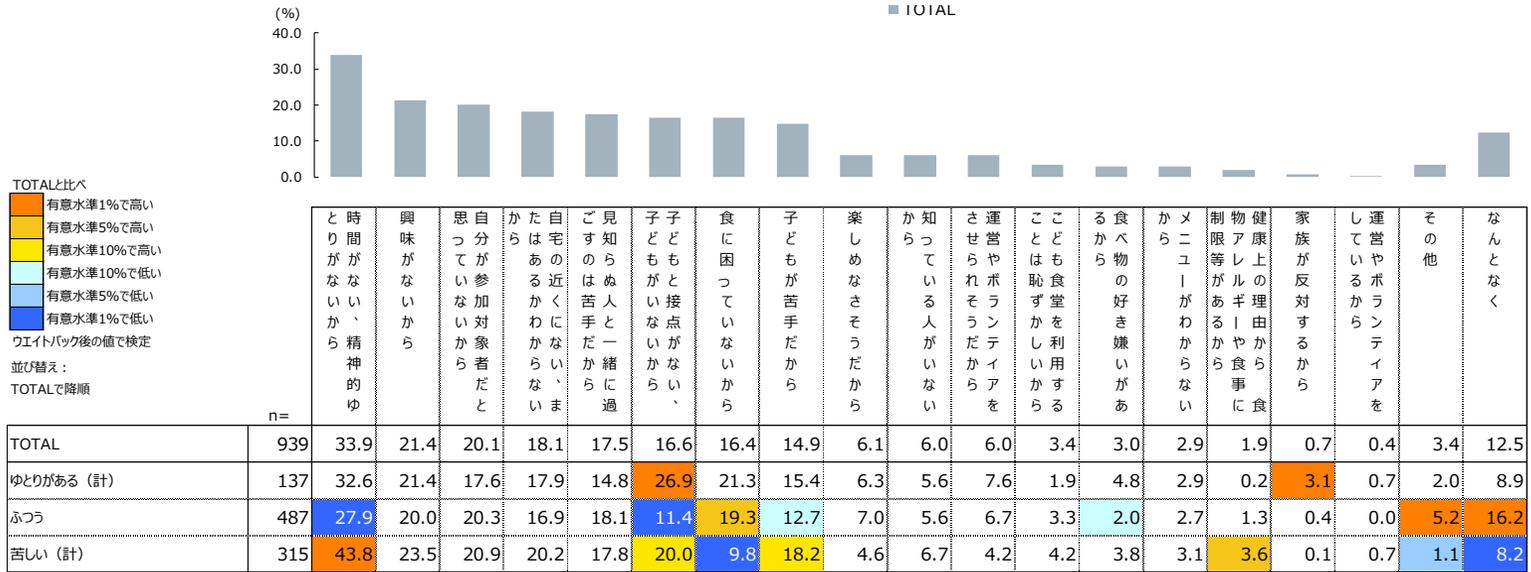
利用者としての参加理由を、暮らしぶり別にみると、ゆとりがある（計）と苦しい（計）で差が大きい項目のうち、「なんとなく」「家計の助けになるから」は苦しい（計）で高い。

利用者として参加の理由

利用者としての非参加の理由を、暮らしぶり別でみると、ゆとりがある（計）と苦しい（計）で差が大きい項目のうち、「時間がない、精神的なゆとりがないから」は苦しい（計）で高くなっている。



利用者として非参加の理由



都道府県別

	n=	「子ども食堂」に関する取組の用語認知				認知内容 誰もが利用	参加経験			参加意向（非参加者のみ回答）			広告認知		TOTAL (ノンウエイ)	TOTAL
		子ども食堂	フードバンク	フードドライブ	フードパントリー		利用者	運営・ボラ	支援者	利用者	運営・ボラ	支援者	CM見た	TOTAL		
TOTAL	4700	91.4	77.9	44.6	31.2	26.6	6.1	3.6	6.4	38.1	38.1	41.4	14.1	4700	TOTAL	
北海道	197	92.0	81.4	50.9	32.9	32.1	2.2	2.3	1.8	42.8	40.1	48.6	12.5	100	北海道	
青森県	46	87.6	65.2	30.2	18.6	29.2	2.4	1.2	2.8	54.2	57.6	55.0	5.8	100	青森県	
岩手県	45	91.8	84.4	39.4	30.6	23.2	9.3	4.3	11.7	30.3	29.1	31.8	16.2	100	岩手県	
宮城県	86	90.7	85.2	51.4	33.8	21.9	7.3	0.0	6.7	30.8	39.6	33.9	14.8	100	宮城県	
秋田県	35	90.4	77.6	53.5	27.4	19.0	4.3	3.2	7.9	54.0	45.7	47.9	8.9	100	秋田県	
山形県	39	93.4	81.6	39.2	25.4	33.8	3.4	2.2	4.0	32.9	41.0	45.9	7.7	100	山形県	
福島県	68	88.5	76.2	48.2	28.3	31.4	4.6	7.0	8.7	52.1	46.0	50.0	22.1	100	福島県	
茨城県	108	84.3	70.5	28.7	33.3	15.2	2.6	0.0	4.5	45.1	45.4	45.4	12.8	100	茨城県	
栃木県	73	86.8	72.1	36.8	26.5	27.2	5.1	2.8	2.5	38.9	43.4	49.5	5.0	100	栃木県	
群馬県	72	93.5	77.0	42.2	26.6	30.0	4.1	4.1	5.0	47.7	39.9	56.0	17.9	100	群馬県	
埼玉県	277	88.9	70.6	39.4	26.8	18.5	8.7	2.8	7.5	39.0	33.9	33.7	11.4	100	埼玉県	
千葉県	238	91.5	78.2	39.1	33.6	25.8	7.1	3.9	8.2	34.8	36.1	45.1	15.2	100	千葉県	
東京都	535	92.3	77.9	48.1	39.4	28.2	5.0	4.6	4.5	29.8	33.3	36.1	19.2	100	東京都	
神奈川県	350	97.8	81.5	48.2	33.7	26.9	5.7	4.7	10.3	48.5	47.4	48.7	16.9	100	神奈川県	
新潟県	82	92.1	88.6	37.1	23.2	31.5	2.8	1.3	3.2	39.4	38.5	48.3	14.2	100	新潟県	
富山県	38	92.8	75.9	49.2	28.7	20.9	1.6	1.6	4.2	38.5	38.6	39.0	19.2	100	富山県	
石川県	42	99.2	82.7	68.9	36.2	23.8	10.8	6.4	5.7	39.7	39.8	37.9	12.7	100	石川県	
福井県	28	92.4	74.3	53.0	33.2	20.0	10.2	5.3	8.2	30.1	30.0	38.4	21.4	100	福井県	
山梨県	30	89.3	86.2	50.9	25.1	27.6	3.2	2.0	5.0	37.4	35.8	41.0	15.0	100	山梨県	
長野県	75	93.3	78.9	56.2	28.8	31.1	8.4	2.0	14.4	44.0	44.0	53.0	14.1	100	長野県	
岐阜県	73	93.5	77.1	35.8	35.5	23.4	4.0	1.9	3.8	51.8	44.5	47.1	12.2	100	岐阜県	
静岡県	136	92.2	82.0	50.1	39.9	31.5	12.0	6.9	7.3	32.3	36.1	34.7	13.1	100	静岡県	
愛知県	281	88.7	73.9	45.6	26.4	21.0	5.6	1.4	4.8	25.4	31.7	29.5	14.7	100	愛知県	
三重県	65	88.6	69.7	40.6	33.3	29.7	5.9	1.3	0.8	43.4	45.1	49.7	14.1	100	三重県	
滋賀県	52	94.8	75.0	48.6	31.6	30.0	6.7	4.0	9.0	40.5	42.0	47.1	11.0	100	滋賀県	
京都府	95	91.9	73.4	39.6	30.8	26.6	4.1	7.0	0.0	38.6	35.9	45.2	5.6	100	京都府	
大阪府	331	96.2	82.5	35.3	27.8	22.9	7.7	5.8	6.0	34.3	31.8	33.9	15.5	100	大阪府	
兵庫県	201	92.9	77.4	45.8	30.5	30.3	5.2	0.6	6.1	38.0	36.4	40.5	7.5	100	兵庫県	
奈良県	50	95.6	79.2	52.4	31.2	24.5	9.6	4.2	6.0	32.0	30.3	33.4	11.2	100	奈良県	
和歌山県	34	89.1	68.7	27.0	18.1	26.8	10.4	6.1	5.9	41.0	35.8	37.3	2.9	100	和歌山県	
鳥取県	20	93.3	82.1	42.2	25.2	27.3	9.1	2.7	3.0	36.5	32.4	37.1	15.4	100	鳥取県	
島根県	24	90.0	82.6	41.8	41.0	28.8	7.7	6.0	9.8	39.9	49.1	52.5	12.7	100	島根県	
岡山県	68	89.2	81.7	39.9	29.7	24.3	3.4	3.4	4.7	27.0	28.0	31.6	8.8	100	岡山県	
広島県	103	90.7	79.2	42.6	30.5	32.4	3.3	3.5	9.0	48.4	52.2	51.1	12.7	100	広島県	
山口県	49	91.0	79.8	29.9	24.1	25.3	7.0	2.5	8.3	31.4	33.0	40.9	16.3	100	山口県	
徳島県	26	84.2	81.7	37.3	30.9	36.1	8.4	6.3	8.1	43.3	43.2	44.3	22.6	100	徳島県	
香川県	35	90.8	79.0	52.4	32.5	25.2	10.3	3.6	11.3	28.4	32.6	37.3	23.2	100	香川県	
愛媛県	48	88.4	75.2	50.6	29.0	23.0	12.2	4.7	13.9	43.0	40.8	41.4	16.3	100	愛媛県	
高知県	25	91.9	80.4	46.8	25.9	28.4	13.5	8.8	11.3	29.7	41.7	36.7	2.4	100	高知県	
福岡県	187	81.9	77.4	53.0	25.1	36.3	4.0	2.6	7.7	41.5	38.7	42.5	14.9	100	福岡県	
佐賀県	29	91.5	75.1	46.7	30.6	30.1	5.5	4.9	7.2	41.2	36.0	44.3	8.9	100	佐賀県	
長崎県	48	89.3	73.0	48.0	32.8	19.1	10.8	5.2	10.7	48.1	42.9	41.5	10.4	100	長崎県	
熊本県	63	84.0	68.8	44.0	28.7	22.5	5.9	2.3	3.7	33.7	31.4	41.2	10.4	100	熊本県	
大分県	41	93.9	82.4	58.1	27.5	26.4	1.7	1.7	4.6	45.8	41.7	48.3	14.2	100	大分県	
宮崎県	39	92.3	70.5	57.3	30.5	26.7	2.3	1.7	4.6	34.0	40.9	44.9	14.6	100	宮崎県	
鹿児島県	56	94.8	83.0	42.9	32.3	42.3	9.2	6.2	6.6	40.0	40.1	49.3	24.1	100	鹿児島県	
沖縄県	53	89.4	82.6	53.3	41.9	21.9	13.1	4.0	9.5	48.9	46.9	55.4	9.3	100	沖縄県	

TOTALと比べ
 有意水準1%で高い
 有意水準5%で高い
 有意水準10%で高い
 有意水準1%で低い
 有意水準5%で低い
 有意水準10%で低い
ウエイティング後の値で検定

Appendix

- 令和2年国勢調査
人口等基本集計より
回収数を構成比に
合わせてウエイト
バック集計を行った。

		実数					
		15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～79歳	15～79歳計
男性	全国	8,971,985	6,993,886	9,052,436	8,142,306	14,845,109	48,005,722
男性	北海道	338,648	266,117	357,803	328,333	665,845	1,956,746
男性	青森県	73,846	59,576	80,640	80,480	167,619	462,161
男性	岩手県	73,844	60,168	80,520	78,219	164,659	457,410
男性	宮城県	168,174	131,258	164,546	144,287	277,066	885,331
男性	秋田県	50,788	44,448	61,383	59,987	140,851	357,457
男性	山形県	66,635	54,530	69,104	65,981	148,235	404,485
男性	福島県	120,699	98,033	123,639	118,978	250,251	711,600
男性	茨城県	203,903	160,668	210,431	186,919	373,757	1,135,678
男性	栃木県	135,207	112,009	144,562	125,317	250,381	767,476
男性	群馬県	136,694	103,273	140,765	125,889	247,980	754,601
男性	埼玉県	538,554	420,162	567,836	498,510	854,554	2,879,616
男性	千葉県	467,088	362,124	479,063	425,308	739,788	2,473,371
男性	東京都	1,128,686	959,668	1,108,127	978,001	1,330,702	5,505,184
男性	神奈川県	707,724	540,922	720,718	674,435	998,089	3,641,888
男性	新潟県	139,518	113,640	151,012	140,210	296,485	840,865
男性	富山県	69,148	52,207	74,958	64,463	134,292	395,068
男性	石川県	84,038	58,139	81,281	69,108	138,792	431,358
男性	福井県	52,904	40,377	52,887	47,921	96,894	290,983
男性	山梨県	56,792	40,206	54,215	54,827	103,867	309,907
男性	長野県	130,829	101,318	142,992	132,185	262,139	769,463
男性	岐阜県	134,821	100,416	137,871	124,505	247,169	744,782
男性	静岡県	247,814	200,829	263,348	242,012	462,116	1,416,119
男性	愛知県	595,407	457,869	573,884	500,799	810,206	2,938,165
男性	三重県	122,297	93,443	124,712	114,321	216,726	671,499
男性	滋賀県	109,209	80,317	103,117	87,407	159,905	539,955
男性	京都府	194,019	129,001	176,649	157,390	295,445	952,504
男性	大阪府	660,168	477,988	631,217	576,059	965,250	3,310,682
男性	兵庫県	361,521	274,389	372,791	342,648	637,510	1,988,859
男性	奈良県	88,102	61,644	86,517	81,667	169,075	487,005
男性	和歌山県	57,039	44,087	60,109	57,481	121,953	340,669
男性	鳥取県	34,944	28,586	36,822	31,991	72,178	204,521
男性	島根県	42,210	33,418	43,824	38,789	90,743	248,984
男性	岡山県	131,963	95,975	126,186	107,003	226,480	687,607
男性	広島県	198,388	151,630	197,817	170,234	335,842	1,053,911
男性	山口県	84,668	64,221	88,574	76,758	180,823	495,044
男性	徳島県	42,121	34,299	45,346	41,242	97,474	260,482
男性	香川県	61,163	48,827	66,371	55,948	121,195	353,504
男性	愛媛県	80,187	64,395	87,452	78,490	173,391	483,915
男性	高知県	41,062	31,591	45,232	40,318	93,954	252,157
男性	福岡県	362,663	279,061	346,053	290,167	577,906	1,855,850
男性	佐賀県	53,139	41,105	51,036	46,575	101,671	293,526
男性	長崎県	78,643	63,267	80,182	78,616	175,584	476,292
男性	熊本県	110,978	88,687	107,743	99,314	219,605	626,327
男性	大分県	69,556	55,569	72,372	63,046	147,285	407,828
男性	宮崎県	63,689	51,696	66,661	60,447	140,233	382,726
男性	鹿児島県	89,338	75,240	92,146	89,993	210,630	557,347
男性	沖縄県	113,157	87,493	101,922	89,728	152,514	544,814

		実数					
		15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～79歳	15～79歳計
女性	全国	8,608,725	6,802,275	8,888,934	8,165,027	16,470,072	48,935,033
女性	北海道	327,120	268,500	366,908	356,918	792,731	2,112,177
女性	青森県	68,226	58,412	80,486	85,275	198,083	490,482
女性	岩手県	68,646	57,756	76,512	77,810	182,031	462,755
女性	宮城県	159,988	129,578	160,705	143,444	301,044	894,759
女性	秋田県	46,698	42,657	59,363	62,521	160,448	371,687
女性	山形県	60,972	52,111	66,630	66,904	157,610	404,227
女性	福島県	107,919	90,235	114,403	115,057	261,902	689,516
女性	茨城県	180,097	144,954	194,179	178,729	394,757	1,092,716
女性	栃木県	121,212	100,570	132,980	120,429	262,852	738,043
女性	群馬県	124,019	94,223	132,903	122,421	264,729	738,295
女性	埼玉県	517,351	396,008	529,021	472,190	923,362	2,837,932
女性	千葉県	442,146	340,603	452,192	404,386	804,079	2,443,406
女性	東京都	1,126,158	935,584	1,083,858	933,964	1,452,071	5,531,635
女性	神奈川県	669,333	509,949	689,976	629,928	1,079,418	3,578,604
女性	新潟県	129,747	108,078	145,348	138,375	318,772	840,320
女性	富山県	61,784	48,178	71,153	64,848	150,570	396,533
女性	石川県	75,956	56,400	79,119	71,214	155,545	438,234
女性	福井県	47,841	38,683	50,787	48,381	105,601	291,293
女性	山梨県	51,590	37,774	52,285	54,059	111,765	307,473
女性	長野県	120,526	96,564	137,769	130,739	282,254	767,852
女性	岐阜県	129,921	96,572	134,300	128,307	274,508	763,608
女性	静岡県	225,269	185,959	249,182	234,270	498,463	1,393,143
女性	愛知県	549,805	418,595	540,030	476,486	878,782	2,863,698
女性	三重県	113,682	87,536	120,199	115,307	240,898	677,622
女性	滋賀県	98,441	76,763	101,850	88,577	173,158	538,789
女性	京都府	189,958	132,923	183,159	166,537	342,739	1,015,316
女性	大阪府	665,804	490,518	653,064	595,705	1,113,430	3,518,521
女性	兵庫県	367,477	282,464	393,400	369,613	733,811	2,146,765
女性	奈良県	89,836	65,404	93,109	91,612	196,829	536,790
女性	和歌山県	54,624	44,661	61,536	64,129	140,933	365,883
女性	鳥取県	33,384	27,949	35,947	33,481	79,834	210,595
女性	島根県	38,390	31,951	41,390	38,993	97,353	248,077
女性	岡山県	128,491	96,078	125,948	111,859	253,444	715,820
女性	広島県	186,013	145,330	196,757	174,050	375,738	1,077,888
女性	山口県	78,903	62,557	87,426	82,569	208,698	520,153
女性	徳島県	40,411	33,989	46,207	44,563	107,657	272,827
女性	香川県	56,994	47,532	65,788	57,381	134,955	362,650
女性	愛媛県	76,283	64,948	88,876	84,932	200,030	515,069
女性	高知県	38,234	32,111	45,319	43,242	107,578	266,484
女性	福岡県	369,064	291,614	360,427	316,672	672,159	2,009,936
女性	佐賀県	52,978	42,518	52,040	50,430	115,166	313,132
女性	長崎県	77,380	65,259	83,898	86,431	200,888	513,856
女性	熊本県	109,983	91,383	110,975	109,071	247,145	668,557
女性	大分県	65,926	55,220	72,884	68,479	169,113	431,622
女性	宮崎県	62,240	54,627	69,147	66,117	159,592	411,723
女性	鹿児島県	92,857	81,799	98,058	99,219	230,196	602,129
女性	沖縄県	109,048	89,198	101,441	89,403	157,351	546,441



株式会社インテージリサーチ